

東京放射線

2012年5月
Vol.59 No.695



公益社団法人 東京都放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

5月号綴じ込み
“書面表決” 投函のお願い

卷頭言 新しきものとふるきもの 葛西一隆
告示 平成24年・25年度役員選挙

公益社団法人 東京都放射線技師会第1回定期総会
平成24年度 診療放射線技師のための「フレッシュシャーズセミナー」
第11回日暮里塾ワンコインセミナー

平成24年度 城南支部研修会

平成23年度 第10回ペイシエントケア学術大会

総会資料 第1回定期総会議案

研修会申込書

2012年
MAY

CONTENTS

目次

平成24年度 スローガン

三、二、一、
生涯教育・専門教育の推進
地球環境と調和した医療技術の向上
チーム医療の推進

診療放射線技師業務標準化宣言	4
巻頭言 「新しきものとふるきもの」	5
告示 平成24年・25年度役員選	6
会告1 公益社団法人 東京都放射線技師会第1回定期総会	7
会告2 平成24年度 診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」	8
会告3 第11回日暮里塾ワンコインセミナー	10
会告4 平成24年度 城南支部研修会	11
会告5 第10回ペイシェントケア学術大会	12
会告6 第46回きめこまかな生涯教育	13
会告7 平成24年度 診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」	14
会告8 第12回日暮里塾ワンコインセミナー	15
会告9 平成23年度学術奨励賞	16
公益社団法人 東京都放射線技師会第1回定期総会 資料	17
・第1号議案 平成23年度事業報告（案）	
I 事業報告	
II 活動報告	
III 活動報告（庶務概要）	
・第2号議案 平成23年度決算報告（案）	37
・第3号議案 平成23年度監査報告（案）	46
・第4号議案 平成24年度事業計画（案）	47
1 統括	
2 定款に基づく本会の事業	
3 地区事業計画	
・第5号議案 平成24年度予算書（案）	55
・第6号議案 法人名称変更を含む定款修正（案）	57
こえ	
・第12地区研修会に参加して	篠田 浩 59
・第12地区研修会 印象記	雨宮謙太 60
NEWSひろい読み	61
お知らせ	
・第15地区のつどい	63
パイプライン	
・第24回腹部エコー初心者講習会（平成24年4月号引用）超音波画像研究会	64
・第28回中央医療同窓会総会・中央放射線学会	中央医療技術専門学校 66
会第11回理事会報告	67
平成24年3月期会員動向	69
研修会申込書	70

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

(社) 東京都放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシエントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都放射線技師会

卷頭言



新しきものとふるきもの

副会長 葛西一隆

2012年3月16日、青森—大阪を結んでいたブルートレイン寝台特急「日本海」が姿を消した。幼い頃、1970年大阪万博に行く時にこの列車（当時は急行だったか？定かではないが）に乗った記憶がある。どれだけの時間を費やしての大坂への旅行であったか、高速化が求められる今、思えば気長な味のある時を過ごしたものである。

建築物についても、ご存知の通り東京近辺の旧国名である武藏国（むさしのくに）に語呂を合わせた、高さ634mの東京スカイツリーが5月22日墨田区内に開業する。映画「ALWAYS三丁目の夕日」でその時代背景まで紹介され象徴となっている、333mの東京タワー（1958年に竣工）をはるかに見下ろす規模である。

昭和55年発足以来32年間にわたり、東京都公認の社団法人として会務に取組んできた東京都放射線技師会も、本年4月1日より名称を新たに公益社団法人東京都放射線技師会としてリスタートすることになる。

公益社団法人認定法に定める公益社団法人の公益目的事業の定義を紹介すると、学術、技芸、慈善その他の公益に関する23種類の事業各号に掲げる事業であって、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものとする。

公益社団法人として適切でないものとは、

- ・構成員相互の親睦、連絡、意見交換会等を主たる目的とするもの
- ・特定団体・職域の者のみの福利厚生等を主たる目的とするもの
- ・後援会など特定個人の精神的、経済的支援を目的とするもの

この度、公益法人に移行することにより、より一層の公益性や社会貢献が求められている中、国民の健康と医療福祉を守り、信頼される安心で安全な医療の提供と、社会からの信頼の裏づけとして期待される職能活動の充実に向け会員個々の実践を推進してまいります。

昨年の東日本大地震を端とした東京電力福島第一原子力発電所の事故後には、会員の皆様の協力を頂きながら被災地及び東京都内に設けられた避難所で、被災者の不安回避にも繋がる放射線サーベイ活動を実施すると共に、現在も福島第一原子力発電所内の救急医療室への診療放射線技師派遣を継続している。

地球環境保全を目的としたボランティアによる清掃活動、都内の各所で開催される健康祭り等の公共行事への参加による公益活動も継続展開していく所存である。

“いま何を…” “これから何を…” 後ろを振り返らず前を見て、診療放射線技師の将来と共に考え行動していきたい。

公 示

公益社団法人 東京都放射線技師会 平成24・25年度 役員選挙について

平成24年5月1日

平成24・25年度の公益社団法人 東京都放射線技師会役員選挙立候補者について、平成24年3月1日付にて告示し、平成24年4月2日立候補締切りとした。

結果、次の立候補届があつたので審査し受理した。

会長

立候補者

篠原 健一
(河北総合病院)

監事

立候補者

乙井 不二夫
(古川橋病院)

会員外監事

理事会推薦

佐藤 清榮

理事

立候補者

浅沼 雅康 (東京女子医科大学東医療センター)
安宅 里美 (本多病院)
飯島 利幸 (日本大学医学部附属板橋病院)
石田 秀樹 (昭和大学歯科病院)
市川 重司 (公立福生病院)
江田 哲男 (東京都済生会中央病院)
葛西 一隆 (帝京大学医療技術学部)
大地 直之 (河北総合病院)
大室 正巳 (東京通信病院)
小野口 敦 (本駒込クリニック)
川崎 政士 (大聖病院)
眞田 鮎子 (三井記念病院)
白木 尚 (東京大学医学部附属病院)
関 真一 (立正佼成会附属佼成病院)
高坂 知靖 (佐々総合病院)
高橋潤一郎 (虎の門病院)
千葉 利昭 (東邦大学医療センターハーバード病院)
野口 幸作 (東京臨海病院)
森 俊 (慶應義塾大学病院)

投票日 平成24年5月26日 (土) *公益社団法人 東京都放射線技師会 第1回総会開催日

開票日 平成24年5月26日 (土) *公益社団法人 東京都放射線技師会 第1回総会開催日

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1

ステーションプラザタワー505

公益社団法人 東京都放射線技師会

選挙管理委員会

委員長 高橋 克行

委員 富丸 佳一

大久保智史

水野 靖弘

上野 哲雄

会 告 1

公益社団法人 東京都放射線技師会 第1回定期総会 開催の件

定款第13条に基づき下記の通り、公益社団法人 東京都放射線技師会第1回定期総会を開催いたします。
なお、昨年同様「ペイシェントケア学術大会」終了後の開催となります。

記

開催日	平成24年5月26日（土）
受付	15時00分～
総会	15時30分～
会場	「ホテルラングウッド」 2F 凤凰 〒116-0014 荒川区東日暮里5-50-5 TEL 03-3803-1234
交通	JR日暮里駅南口より徒歩1分
議事	第1号議案 平成23年度事業報告（案） 第2号議案 平成23年度決算報告（案） 第3号議案 平成23年度監査報告（案） 第4号議案 平成24年度事業計画（案） 第5号議案 平成24年度予算書（案） 第6号議案 法人名称変更を含む定款修正（案）

以上

公益社団法人 東京都放射線技師会
会長 篠原 健一



お願い

- ご出席の際は、必ず総会資料である会誌「東京放射線」5月号もしくは別途発送の総会資料をご持参してください。また、「第1回定期総会議事の表決について」及び「委任状」を同封いたしました。総会に出席できない方は、必要事項をご記入の上、必ずご投函をお願いします。
- 定期総会議事について書面表決された方は、「委任状」への記入は不要です。
- 本会告をもって案内状と致します。多数の会員のご出席をお願いします。

会 告

2

平成24年度診療放射線技師のための 「フレッシャーズセミナー」開催のお知らせ 第10回日暮里塾ワンコインセミナー「新入会促進セミナー」合同開催

主催 公益社団法人 日本放射線技師会、公益社団法人 東京都放射線技師会

このたび平成24年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」を開催いたします。

これは、公益社団法人日本放射線技師会と公益社団法人東京都放射線技師会の共同企画であり、新人診療放射線技師を対象としたセミナーであります。このセミナーの特徴は、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナーを学ぶだけではなく、診療に対応できる新人診療放射線技師として、知っておくべき基礎知識の習得を目的として開催します。また同時開催として第10回日暮里塾ワンコインセミナーを開催いたします。日暮里塾ワンコインセミナーは新入会促進セミナーとして昨年開催し好評を得たセミナーでフレッシャーズセミナーと共に通した部分が多く、合同開催する事でより内容が充実したセミナーになると考えております。

各施設に入職された新人診療放射線技師の方々へ「フレッシャーズセミナー」への参加をお薦め願います。

記

日 時：平成24年5月13日（日）9時00分～（受付開始8時30分～）

場 所：公益社団法人 東京都放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札東口方面より徒歩3分

受講対象者：新たに診療放射線技師として勤務する者を優先的に受講させる

受 講 料：無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい

講習会終了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間に対し、欠課の合計時間が1割を超えた場合

イ) 欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

生涯学習カウント：「学術研修活動」カウントが付与されます（Basicカード以上の保持者のみ）

締め切り：平成24年5月7日

問い合わせ：東放技理事（学術教育担当） 市川重司 Mail：gakujiu@tart.jp

公益社団法人 東京都放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

プログラム

限	時間	科目	講師名/所属
	9:00～	開講式・オリエンテーション	
1	9:10～ 9:40	エチケット・マナー講座	大室正巳（東放技理事・東京通信病院）
2	9:40～10:10	社会人講座	大室正巳（東放技理事・東京通信病院）
3	10:20～11:20	感染対策講座（講義）	市川重司（東放技理事・公立福生病院）
4	11:20～12:20	感染対策講座（実習）	市川重司（東放技理事・公立福生病院）
ランチョンセミナー			
5	13:00～13:30	技師会活動紹介	野口幸作（東放技理事・東京臨海病院） 市川重司（東放技理事・公立福生病院）
6	13:30～14:30	医療安全対策講座	江田哲男（東放技理事・東京都済生会中央病院）
7	14:30～16:30	胸部単純撮影講座	野口幸作（日放技教育委員）
8	16:40～17:10	入会案内	野口幸作（東放技理事・東京臨海病院）
	17:10～	閉講式	

公益社団法人 東京都放射線技師会 第1回定期総会 準備委員名簿

実行委員長：石田秀樹

副委員長：野口幸作 浅沼雅康 市川重司

経理：関 真一 矢野孝好 横田 光 安宅 里美 人見 謙二

来客係：大室正巳 高坂知靖 江田哲男 森 俊 山田美彩子

受付係：眞田鮎子 山田和孝 石上信雄 高橋潤一郎 小野口敦 岡部博之 田川雅人
中西雄一 飯島利幸 大地直之 千葉利昭 篠田 浩 川崎政士 高林正人

原子 満 工藤年男

書記写真記録係：内藤哲也 岩井譜憲 森 美加 中谷 麗 浅野 幸 平田充弘
柴山豊喜 高橋克行

会場係：高野修彰 松田紗代子 浅沼芳明

採決係：岡部圭吾 高瀬 正 秋田敬子 雨宮広明 河内康志 吉井伸之

総会運営委員：中村眞規 菊池 悟 今野重光 安藤猛晴 宇賀神哲也

資格審査委員：内山秀彦 阿蘇敏樹 澤田恒久 芦田哲也 柏倉賢一 見廣藤嗣 田中志穂
野田忠明 大永貴弘 川崎獎太

第11回

日暮里塾ワンコインセミナーサテライト開催 第11地区勉強会合同開催

テーマ：「放射線技師の英会話～とっさのひとこと～」

講 師：河北総合病院 渡邊 真弓 氏

第11回日暮里塾ワンコインセミナーは、4月24日に開催されました第9回日暮里塾ワンコインセミナーと同じ内容で、日暮里を離れてサテライトで開催いたします。
前回参加できなかった方、遠方で仕事終了後には間に合わない方、復習で再度参加して基礎固めをしたい方など多くの方の参加を希望しております。

「外国人の患者さんが来ます！」と言われたとき、急いで取り出した撮影用の英語のマニュアル文章があまりに長文であったり、知らない単語だらけで全く覚えられなかつことはありませんか？

今回の日暮里塾ワンコインセミナーでは、きちんとした文法かつ丁寧な表現とは真逆の、アメリカ英語のブロークンイングリッシュをご紹介します。

「文章は短く、なるべく誰でも知っているような簡単な単語で、通じればいい。」
そんなふうに思う放射線技師がいつでも使えるような、とっさのひとことを覚えていただければ幸いです。
もちろん初心者向けです。

記

日 時：平成24年5月17日（木）19時00分～20時30分

場 所：東邦大学医療センター大橋病院教育棟 臨床講堂

ア クセス：東急田園都市線 池尻大橋駅徒歩6分

京王井の頭線 駒場東大前駅徒歩10分

受 講 料：会員500円、非会員3,000円（当日徴収）、

一般および新卒新入会員・学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会等申込み用紙を使用して事務所にFAXで申し込んで下さい。
(※当日参加も可能です)

問い合わせ：理事（学術教育担当） 市川重司

Mail : gakujitu@tart.jp

理事（第11地区担当） 千葉利昭

Mail : area11@tart.jp

TEL : 03-3468-1251（東邦大学医療センター大橋病院）

公益社団法人 東京都放射線技師会事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724



以上

会 告

4

城南支部研修会

テーマ：「Aiの重要性と今後の展望」

講 師：一般財団法人 Ai情報センター代表理事 山本正二先生

医療現場に死因情報を還元するシステムとしては、現在の主流は解剖（病理・承諾・行政・司法）ですが、解剖率の2%台という低迷状態が背景にあり、決して医療現場にも遺族にも満足のいくものではないそうです。そこで現在注目を集めている分野がAiになります。AiとはAutopsy imaging（オートプシーイメージング）の頭文字で、日本語訳は『死亡時画像診断』です。御遺体にCTやMRIなどの画像診断機器を用いた新しい死因究明システムです。CTやMRIなどの画像診断機器を使用する上でも、我々診療放射線技師にとって今後はずせない分野になってくるものと思われます。

今回の城南支部研修会は、一般財団法人 Ai情報センター代表理事 山本正二先生を講師にお招きし、医療現場におけるAiの役割や重要性をお話いただきながら、Aiの今後の展望をご講演願う予定です。山本先生のご講演から、Aiにおける我々の役割や生体とは異なる画像診断を行うことの難しさなどを感じていただき、我々の今後の活動やより専門性の高い情報提供に役立てたいと考えております。

会員、非会員に関わらず多数のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成24年5月25日（金）19時00分～（受付開始18時30分）

場 所：JR東京総合病院 講堂

参 加 費：診療放射線技師1,000円、一般および新卒新入会員 無料

申込方法：area04@tart.jpへ氏名・地区名・勤務先名等をお知らせください。もしくは、東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み専用フォームにて、または会誌の研修会申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込み下さい。当日参加も歓迎いたします。

問い合わせ：理事（第4地区担当）高橋潤一郎 E-MAil area04@tart.jp

虎の門病院 放射線部 TEL 03-3588-1111 (内3832)

以上



会 告

5

第10回ペイシェントケア学術大会

テーマ 「災害医療」

記

開催日：平成24年5月26日（土）

受付：午前9時30分～

場所：「ホテルラングウッド」 2F 凤凰

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5 TEL 03-3803-1234

交通：JR日暮里駅南口より徒歩1分

参加費：診療放射線技師1,000円、一般および他職種参加者 無料

主催：公益社団法人 東京都放射線技師会

後援：東京都、荒川区、公益社団法人東京都看護協会、社団法人東京都臨床検査技師会、一般社団法人日本救急救命士協会

以上

プログラム

9:55	主催者挨拶 公益社団法人 東京都放射線技師会 会長 篠原 健一
10:00～11:45	シンポジウム 「災害時の支援活動～東日本大震災から1年～」 我々は何が出来たのか… そしてこれから…」 ◇「看護師の立場から」 公益社団法人東京都看護協会 廣岡 幹子 氏 ◇「臨床検査技師の立場から」 東京医科大学病院 上道 文昭 氏 ◇「救急救命士の立場から」 日本救急救命士協会 鈴木 哲司 氏 ◇「診療放射線技師の立場から」 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 大内 幸敏 氏
11:50～12:50	教育講演 「救急医療と災害医療におけるチーム医療」 済生会横浜市東部病院 船曳 知弘先生
13:00～14:00	ランチョンセミナー ◇「シーメンス3T MRI の最新装置とその技術」 シーメンス・ジャパン株式会社 宇根田宏徳 氏 ◇「小型ドクターカーの概要と災害時活用事例の展望」 GEヘルスケア・ジャパン株式会社 浅井英里子 氏
14:15～15:15	特別講演【公開講座】 「あの大震災が考えさせたこと」 杏林大学医学部放射線医学教室教授 似鳥俊明 先生

第46回きめこまかな生涯教育

テーマ：「デジタルマンモグラフィの基礎と品質管理」

講 師：神奈川乳房画像研究会 石川 光雄 先生

JIS Z 4752-3-2 「受入試験-乳房用X線装置」の発行や、JESRA X-0093 「医用画像表示用モニターの品質管理に関するガイドライン」により、デジタルマンモグラフィの品質管理項目が整理されつつあります。

そこで今回、検出器やデジタル画像について理解を深めるとともに管理項目の内容を解説し、各施設でデジタルマンモグラフィの品質管理が容易に行えるよう理解を深めていただきます。

多くの方の参加をお待ちしております。

プログラム

第1日目：デジタルマンモグラフィの基礎

第2日目：品質管理項目の解説

第3日目：CNR・平均乳腺線量・SCTF・ラグおよびコントラスト応答の計算

参考文献：デジタルマンモグラフィ品質管理マニュアル

NPO 法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会医学書院

記

日 時：平成24年6月13日(水)、14日(木)、15日(金) 19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人 東京都放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セス：JR日暮里駅北口改札東口方面より徒歩3分

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい

問い合わせ：東放技理事（学術教育担当） 市川重司 Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人 東京都放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



平成24年度診療放射線技師基礎技術講習 「一般撮影」開催のお知らせ

主催：公益社団法人 日本放射線技師会 実施：公益社団法人 東京都放射線技師会

このたび平成24年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」を開催いたします。

この基礎技術講習では公益社団法人 日本放射線技師会が定めた学習目標に沿った講義を行います。診療放射線技師として、そして医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としております。

今回の開催は全国的に一定レベルのセミナーを普及・拡大させ、全ての診療放射線技師が受講できる環境を整えるように計画されたものであります。また学習目標の理解度の判定として全講義終了時に臨床技能検定を実施します。多くの方の参加をお待ちしております。

記

日 時：平成24年6月24日（日）9時00分～（受付開始8時30分～）

場 所：公益社団法人 東京都放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員6,000円（ただし、検定試験料1,000円を含む）

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと

JART情報システムを利用しない場合は、日放技会誌綴込みのFAX用紙に必要事項を記載のうえ送信すること 注）東放技事務局および東放技のHPからの申込は出来ません

生涯学習セミナー申し込みFAX用紙 FAX：03-5405-3613

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります

講習会終了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません

ア) 講習時間（6時間）に対し、欠課の合計時間が60分を超えた場合

イ) 欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます（Basicカード以上の保持者のみ）

締め切り：平成24年6月10日

プログラム

限	時 間	科 目	講 師 名 / 所 属
	9:00～	開講式・オリエンテーション	
1	9:10～ 9:55	診断用X線装置・画像処理装置	安部 真治（首都大学東京）
2	9:55～ 10:40	撮影-1 胸部・ポータブル撮影	中西 章仁（杏林大学医学部附属病院）
3	10:55～ 11:40	撮影-2 腹部・骨盤	江田 哲男（済生会中央病院）
4	11:40～ 12:25	撮影-3 腹部・生殖器（造影含む）	野中 孝志（公立福生病院）
5	13:10～ 13:55	撮影-4 頭頸部・甲状腺	市川 重司（公立福生病院）
6	13:55～ 14:25	撮影-5 歯科・顎骨・口腔	本城谷 孝（日本大学歯学部付属歯科病院）
7	14:40～ 15:40	撮影-6 脊椎・関節・上下肢・軟部	工藤 年男（春日部市立病院）
8	15:40～ 16:25	注意点および検像	野口 幸作（東京臨海病院）
	16:40～ 17:10	臨床技術能力検定	
	17:10～	閉講式	

第12回 日暮里塾ワンコインセミナーのお知らせ テーマ：「視覚的評価法と結果のまとめ方」

講 師：国立がん研究センター 永井 優一 技師

第12回日暮里塾ワンコインセミナーはROC解析を取り上げます。

普段、取っ付き難いと思っている方が殆どだと思います。今回は実習を中心に実際の学会発表などに利用できるように理屈よりも実施する事でROC解析を体験して理解していただきたいと思います。多くの方の参加お待ちしております。

プログラム

1. ROC 解析について講義（45分間）
2. 評定確信度法によるデータ解析実習（手計算）（90分間）
40例のX線胸部画像を観察し5段階評価法にてデータ解析します。この集計結果を電卓にてTP, FPを算出してROC曲線を描出します。
3. 有意差検定について（45分間）
分散~t 検定までMicrosoft Excel（分析ツール）を使用して、講義と実習（サンプルデータ使用）をおこないます。

※受講生は各自ノートパソコンを持参してください。

※Microsoft Excel（分析ツール）とMicrosoft Power Point が使用できる環境にしてください。

記

日 時：平成24年6月30日（土）15時00分～18時00分（受付14時30分～）

場 所：公益社団法人 東京都放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：10名（先着順）

受 講 料：会員500円 非会員3,000円（当日徵収）、一般および新卒新入会員・学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌巻末の研修会申込用紙にて、事務所にFAXで申し込んで下さい。

問い合わせ：東放技理事（学術教育担当） 市川重司 Mail : gakujitu@tart.jp
公益社団法人 東京都放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

会 告

9

平成23年度学術奨励賞

演題名：「技師読影に関する検討 — 読影技師の傾向と診断に対する影響 —」

発表学会：第27回全国放射線技師総合学術大会 チーム医療 演題番号70（示説）

【平成23年9月16日～18日 青森文化会館・ホテル青森】

発表者：工藤 清宜¹⁾

共同発表者：岸 一夫¹⁾、前田恵理子¹⁾、吉川 健啓¹⁾、林 直人¹⁾、原 真²⁾

発表施設：東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター コンピュータ画像診断学／予防医学講座¹⁾

ジェイマックスシステム²⁾

<選出理由>

本発表は技師読影における傾向と診断に対する影響を研究したもので技師読影の有効性を示唆するとともに、診断精度の向上にまで言及しており、大変良く検討されております。

厚労省より出された「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」で提唱されているように、今後益々注視していかなくてはならない分野であり、それに先駆けて研究発表されたことは大変重要な意味を持つと考えられます。

今後も各方面での研究に尽力される事を期待して学術奨励賞を贈らせていただきます。

公益社団法人 東京都放射線技師会 第1回定期総会資料

第1号議案 平成23年度事業報告（案）

総括

東日本大震災・福島第一原子力発電所事故から一年。私たち診療放射線技師は、昨年の3月以来、被災地や東京都内の避難所における放射線サーベイ活動を実施し、福島第一原子力発電所5・6号機内救急医療室への診療放射線技師派遣を行ってきた。このようなことは二度と起きてはならないが、結果的に医療現場だけではなく、私たちに求められている放射線専門技術者としての社会的責任を強く考えさせられる一年であった。

リーマンショック以降の世界同時不況、欧州金融危機、中東の春、国内有名企業の粉飾不祥事、TPP問題などの情勢は、私たちに対して自己中心的な生き方、企業利益中心的な事業運営、国家利益中心的な戦略の見直しが求められているといえる。社会的責任が叫ばれ、やさしく思いやりを持って人間・社会・地球に接していく、そういうことが強く求められているのである。コンプライアンス＝「法令遵守」と画一的に訳されて使用されることが多いが、本来は「社会の要求に柔軟に対応する」ということを表す。本会の事業もこの姿勢を根本に、平成23年度はスローガンとして1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した画像診断技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を掲げて活動を展開してきた。

昨年11月に厚労省チーム医療推進会議において「診療放射線技師の業務範囲拡大」について審議・答申があり、CT・MRI検査等における留置針からの造影・抜針・止血、下部消化管検査におけるネラトンチューブの挿入・造影剤の注入等、実態として診療放射線技師が担っていた一部の医行為について「診療の補助」として法的根拠が付加され、R I 関連装置等も「政令で定める装置」として明確に業務範囲に位置付けられることになった。正式に取り扱える範囲が広がるということは、職能としての責任も一層明確・重大になるということでもある。このことによる国民の安全・安心な医療のために必要な研修・講習等についても、日本放射線技師会と連携しながら推進するための協議・準備を進めている。

地球環境問題で大きく取りざたされている「温暖化」だけに限らず、様々な人類活動の見直し、持続可能な社会作りが求められている。生物多様性、農業問題、新型感染症等々も含め、昨年は震災（原発災害）による電力供給不安による地方に依存する都市の脆弱性も露見した。災害から何を学び、何を見直すのか。自然を改造・支配することは不可能であり、新たな人間観・文明観に立脚した行動が求められている。「地球規模で考え方から行動する（Think Globally, Act Locally）」活動として、荒川河川敷の清掃活動、日暮里駅前の清掃活動、各職場における省エネ活動などを推進してきた。

私達は、安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（根拠）に基づいた医療技術＝EBMを提供する必要がある。EBMとは、「臨床的・科学的に確認されている」施設・設備・時間などの制約を考慮している。#患者さん個別の事情や意思を尊重した総合的判断に基づいている。ということである。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。

本年1月26日に東京都公益認定等審議会において、本会の公益性について「基準に適合すると認めるのが相当である」との答申が出され、3月下旬の認定書発行を受け4月1日付で登記を行い、「公益社団法人」としてスタートする予定である。平成20年5月の第55回総会における公益社団法人への移行決議から約4年、平成22年3月の第58回総会における定款変更決議から約2年。各地区、歴代の役員、委員、そして何よりも多大なるご協力とご理解をいただいた会員各位にあらためて感謝申し上げる。公益認定されたことは、発足以来、先輩諸氏・会員の皆様が日々と築いてきた本会の存在価値と社会貢献が「基準に適合」したのであると自負している。

今まで以上に都民のために会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆様方のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げる次第である。

I 事業報告

1. 診療放射線技術の向上に関する調査・研究および指導に関する事業

1) 第43回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成23年6月8日（水）～10日（金）19時00分～20時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「上部消化管X線造影検査」

講 師：高嶋優子 東京都がん検診センター

参加人数：会員34名

2) 第44回きめこまかな生涯教育

開催日時：平成23年10月12日（水）～14日（金）19時00分～20時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「CT装置の性能評価」

講 師：小林隆幸 北里大学北里研究所病院

参加人数：会員20名

3) 第45回きめこまかな生涯教育（第4回MRI集中講習会同時開催）

開催日時：平成24年2月15日（水）、16日（木）、21日（火）、22日（水）19時00分～20時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「MRI実践講義」

講 師：宮崎 功 杏林大学医学部付属病院

野中孝志 公立福生病院

高橋順士 虎の門病院

北川 久 東京慈恵会医科大学附属第三病院

参加人数：会員39名

4) 第10回サマーセミナー

開催日時：平成23年8月27日（土）15時00分～18時00分

開催場所：東京医科大学病院 教育棟5階臨床講堂

テーマ：「ワイヤレスFPDカセット～一般撮影用ワイヤレスFPDカセットの現状～」

講 師：「ワイヤレスFPD・CXDI-70CWireless の紹介」

キャノンマークティングジャパン（株） 向笠恭司

「Carestream DRX-1 System について」

ケアストリームヘルス（株） 岡知 樹

「富士フィルムカセットタイプFPD CALNEO C ワイヤレスの技術紹介」

富士フィルムメディカル（株） 浅野省二

「ワイヤレスカセット型FPD AeroDRのご紹介」

コニカミノルタヘルスケア（株） 崩谷大樹

「一般撮影室とポータブルにおけるワイヤレスFPDの有用性」

北里大学北里研究所メディカルセンター病院 柳田 智

「フィルムレス環境におけるワイヤレスFPD（ケアストリームDRX-1）の使用経験について」

帝京大学医学部附属病院 南 敏広

「富士カセットタイプFPDの使用感について」

東京大学医学部附属病院 三枝裕之

参加人数：83名（会員70名、新入1名、非会員12名）

5) 第10回ウインターセミナー

開催日時：平成24年1月28日（土）15時00分～18時00分

開催場所：東京医科大学病院 教育棟5階臨床講堂

テーマ：「救急撮影・検査～急性腹症～」

講 師：「一般撮影における救急現場での撮影手技と注意点」

杏林大学医学部付属病院 首藤 淳

「MRI検査における救急現場での撮影手技と注意点（安全管理を中心に）」

関東中央病院 天野 淳

「超音波検査における救急現場での撮影手技と注意点」

聖マリアンナ医科大学病院 岡村隆徳

「日本救急撮影技師認定機構紹介」

日本救急撮影技師認定機構理事 土橋俊男

「血管撮影における救急現場での撮影手技と注意点」

国立病院機構 災害医療センター 松鷹幸洋

「CT検査における救急現場での撮影手技と注意点」

順天堂大学医学部附属練馬病院 木暮陽介

参加人数：111名（会員93名、新入9名、非会員9名）

6) 日暮里塾ワンコインセミナー

(1) 第1回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成23年4月26日（火）19時00分～20時00分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「新卒入会セミナー」

講 師：技師会概要 技師会活動 アウトライン

野口幸作 庶務理事

各部活動状況

市川重司 学術教育理事

ミニ講演「技師会費って本当に高い？」

大室正巳 渉外理事

参加人数：17名（新卒者16名、非会員1名）

(2) 第2回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成23年5月19日（木）19時00分～20時00分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「新卒入会セミナー」

講 師：技師会概要 技師会活動 アウトライン

野口幸作 庶務理事

各部活動状況

市川重司 学術教育理事

ミニ講演「技師会費って本当に高い？」

大室正巳 渉外理事

参加人数：17名（新卒者17名）

(3) 第3回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成23年7月12日（火）19時00分～20時00分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「災害時におけるFPDの有用性について」

講 師：伊藤琢也 キヤノンマーケティングジャパン（株）

参加人数：21名（会員16名、新入4名、非会員1名）

(4) 第4回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成23年9月27日（火）19時00分～20時00分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーマ：「グリッドの基本知識と商品説明」

講 師：作野正俊 三田屋商事株式会社

参加人数：19名（会員18名、新入1名）

(5) 第5回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成23年11月22日（火）19時00分～20時00分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーク：「液晶モニターの基礎知識及び品質管理の実践」

講 師：小川滋久 株式会社ナナオ営業1部メディカル課

参加人数：35名（会員23名、新入5名、非会員3名、学生4名）

(6) 第6回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成23年12月20日（火）19時00分～20時00分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーク：「徹底指導～膝関節～」

講 師：工藤年男 春日部市立病院

参加人数：67名（会員45名、新入15名、非会員7名）

(7) 第7回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成24年1月17日（火）19時00分～20時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーク：「学術教育が選んだ6演題について」

講 師：「320列ADCTにおける頭部3DCTAのプロトコールの検討」

日本大学医学部附属病院板橋病院 市川篤志

「自由呼吸による心臓遅延造影MRIについての一考察」

日本大学医学部附属病院板橋病院 松田雅之

「骨シンチグラフィにおける骨集積と骨密度の関連性について」

昭和大学病院 新井麻耶

「小児肘関節撮影補助具の有用性」

昭和大学藤が丘病院 山本 恵

「トモシンセシスの消化管造影検査への有効性の検討～大腸X線検査への適応と課題～」

公立福生病院 野中孝志

「技師読影に関する検討～読影技師の傾向と診断に対する影響～」

「技師読影に関する検討～技師間の読影結果の比較～」

東京大学医学部附属病院22世紀医療センター 工藤清宜

参加人数：31名（会員29名、新入1名、非会員1名）

(8) 第8回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：平成24年3月13日（火）19時00分～20時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーク：「X線防護衣を安全にご使用いただくために」

講 師：鈴木 聰 株式会社マエダ

参加人数：26名（会員25名、新入1名）

7) 平成23年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」

開催日時：平成23年8月21日（日）9時00分～17時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

主 催：社団法人 東京都放射線技師会、社団法人 日本放射線技師会

講 師：エチケット・マナー講座 大室正巳 東京通信病院

社会人講座 大室正巳 東京通信病院

感染対策講座（講義） 市川重司 公立福生病院

感染対策講座（実習） 市川重司 公立福生病院

安全対策講座

江田哲男 東京都済生会中央病院

気管支解剖講座

野口幸作 日放技教育委員

入会案内

野口幸作 東京臨海病院

参加人数：8名

8) 第11回（社）東京都放射線技師会・（公社）日本放射線技術学会東京部会合同学術講演会

開催日時：平成23年9月8日（木）19時00分～20時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーク：「放射線災害と放射線技師の役割」

講 師：諸澄邦彦 日本放射線公衆安全学会 会長

参加人数：74名

9) 第14回メディカルマネジメント研修会

開催日時：平成23年11月17日（木）19時00分～20時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーク：「医療従事者のメンタルヘルス」

講 師：塚野佳代子 横浜労災病院 心療内科

参加人数：50名

10) 第27回結核予防会マンモグラフィ講習会

開催日時：平成24年2月10日（金）～12日（日）2泊3日

開催場所：公益財団法人結核予防会結核研究所

主 催：社団法人 東京都放射線技師会・公益財団法人 結核予防会

共 催：特定非営利活動法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会教育・研修委員会

プログラム：講義 乳がんの臨床・病理・読影法・マンモグラフィの基礎

実習 読影・撮影法・臨床画像評価・画像管理・機器管理

個人評価試験・読影試験・筆記試験

参加人数：50名（東放技応募者11名、結核予防会応募者39名）

11) 支部研修会

(1) 多摩支部緊急チャリティー講演会

開催日時：平成23年4月23日（土）18時30分～20時00分

開催場所：公立昭和病院 本館2階講堂

テーク：「福島県内における避難住民の放射性物質による汚染状況に関する報告」

講 師：市川重司 公立福生病院

参加人数：120名（会員54人、他職種23人、学生43名）

(2) 城南支部研修会

開催日時：平成23年7月14日（木）18時50分～20時20分

開催場所：帝京大学医学部附属溝口病院 二子管理棟7階会議室

テーク：「腰部スポーツ障害における画像診断の役割」

講 師：西良浩一 帝京大学医学部附属溝口病院 整形外科准教授

参加人数：82名（診療放射線技師81名、他職種1名）

(3) 城北支部研修会

開催日時：平成23年9月30日（金）19時00分～20時00分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テーク：「診療放射線技師の将来学習～臨床知識と習得方法を中心に～」

講 師：工藤年男 春日部市立病院

参加人数：60名（診療放射線技師54名、学生6名）

(4) 城東支部研修会

開催日時：平成23年11月11日（金）19時00分～20時30分

開催場所：社団法人 東京都放射線技師会研修センター

テ－マ：「原子力・放射能の基礎知識」

講 師：鈴木崇彦 東京大学大学院医学系研究科附属疾患生命工学センター 放射線分子医学部門講師

参加人数：52名（診療放射線技師50名、他職種2名）

(5) 多摩支部研修会

開催日時：平成24年1月20日（金）19時15分～20時45分

開催場所：国分寺労政会館 4階第4会議室

テ－マ：「上部消化管X線検査 読影の基礎」

講 師：吉田諭史 （財）早期胃癌検診協会中央診療所

参加人数：64名（診療放射線技師60名、他職種4名）

12) 地区研修会

(1) 第11地区チャリティー講演会

開催日時：平成23年7月29日（金）19時00分～20時30分

開催場所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂

テ－マ：「福島原発事故による住民サーベイ派遣報告」

講 師：市川重司 公立福生病院

参加人数：13名（診療放射線技師12名、他職種1名）

(2) 第4地区研修会

開催日時：平成23年12月10日（土）14時30分～17時30分

開催場所：JR東京総合病院 会議室

テ－マ：「CT専門技師認定機構の現状とCTの精度管理」

講 師：木暮陽介 順天堂大学医学部附属練馬病院

小林隆幸 北里研究所病院

参加人数：95名（診療放射線技師95名）

(3) 第13地区研修会

開催日時：平成24年2月9日（木）19時00分～20時30分

開催場所：国分寺労政会館 4階第4会議室

テ－マ：「放射線被ばくの基礎」

講 師：笹沼和智 日本医科大学多摩永山病院

参加人数：26名（診療放射線技師26名）

(4) 第12地区研修会

開催日時：平成24年2月18日（土）15時30分～16時30分

開催場所：佐々総合病院 講義室

テ－マ：「市民からの質問に答えられていますか？」

講 師：大能基秀 日立アロカメディカル

参加人数：20名（診療放射線技師20名）

(5) 第8地区研修会

開催日時：平成24年2月18日（土）15時00分～17時00分

開催場所：NTT東日本関東病院 検診センター6階会議室

テ－マ：「エレクタガンマナイフパーエクションによる放射線治療について」

講 師：赤羽敦也 NTT東日本関東病院

尾本恵里 NTT東日本関東病院

参加人数：20名（診療放射線技師20名）

(6) 第1地区研修会

開催日時：平成24年2月20日（月）18時30分～20時00分

開催場所：UDXビル日立メディコ大会議室

テーク：「CTの今昔」

講 師：鹿野和知 杏雲堂病院

参加人数：85名（診療放射線技師85名）

(7) 第5地区研修会

開催日時：平成24年2月24日（金）18時30分～20時00分

開催場所：順天堂医院6号館

テーク：「スマートグループディスカッション」

講 師：「IMAGING PLATEによる飛散放射性物質検出の可能性」

東京大学医学部附属病院 酒井啓太郎

「寝台位置移動による空間分解能評価の基礎的検討」

日本医科大学付属病院 工藤 正寿

「頭部外傷を対象にしたCT検査と単純X線撮影の比較検討」

順天堂大学医学部附属順天堂医院 大貫 弘二

「MR Elastographyを用いた筋収縮による硬度変化の計測」

東京大学医学部附属病院 畑 純一

「ベクトル表現による画像変換プログラムの開発」

東京北社会保険病院 森 美加

参加人数：46名（診療放射線技師46名）

13) ボランティア活動（地球環境保全活動）

(1) 第5地区日暮里駅前清掃活動

開催場所：平成23年6月26日（日）10時00分～11時30分

開催場所：日暮里駅前

参加人数：診療放射線技師7名、家族3名

(2) 第5地区荒川河川敷清掃活動

開催場所：平成23年10月16日（日）10時00分～12時00分

開催場所：北区荒川河川敷岩淵関周辺

主 催：荒川クリーンエイド・北区環境課

参加人数：診療放射線技師4名、他職種2名、子供5名

(3) 第5地区日暮里駅前清掃活動

開催場所：平成23年11月20日（日）10時00分～11時30分

開催場所：日暮里駅前

参加人数：診療放射線技師6名、他職種1名、子供4名

(4) 第5地区富津海岸清掃活動

開催場所：平成24年3月17日（土）～18日（日）1泊2日

開催場所：千葉県富津海岸

参加人数：診療放射線技師10名

(5) 第5地区日暮里駅前清掃活動

開催場所：平成24年3月20日（火）10時00分～11時30分

開催場所：日暮里駅前

参加人数：診療放射線技師7名、子供5名

14) 調査アンケートに関する事業

調査内容：東日本大震災および福島第一原子力発電所事故に関する各施設の状況調査

調査期間：平成23年11月24日（木）～12月15日（木）

調査対象施設数：419施設

有効回答数：200施設

回答率：47.7%

2. 放射線医療並びに放射線障害防止の普及啓発に関する事業

各健康フェスティバルに参加出展

(1) 看護フェスタ2011

開催日時：平成23年5月15日（日）10時50分～16時00分

会場：新宿駅西口広場イベントコーナー

講演：「福島原発事故を経験して～放射線の正しい知識～」市川重司 公立福生病院

内容：◇しこり体験女性74名、男性8名◇被ばく相談22名◇検査相談7名

来場者：111名（市民）

(2) ピンクリボンin東京2011

開催日時：平成23年9月30日（金）12時00分～17時30分

会場：東京都都民広場（都議会議事堂屋外）

内容：◇しこり体験女性44名、男性4名◇被ばく相談2名◇検査相談2名◇配布資料40部

来場者：52名（市民）

(3) 日暮里フェスタ2011 サンマークシティまちびらき

開催日時：平成23年10月9日（日）10時00分～17時30分

会場：日暮里駅前イベント広場

内容：◇しこり体験女性70名、男性11名◇被ばく相談2名◇検査相談2名◇配布資料61部

来場者：85名（市民）

(4) 立川防災航空祭

開催日時：平成23年10月23日（日）9時00分～15時30分

会場：立川駐屯地

内容：◇しこり体験48名◇相談47名

来場者：95名（市民）

(5) 中央区健康福祉まつり2011

開催日時：平成23年10月23日（日）10時00分～15時00分

会場：中央区保健所2F

内容：◇しこり体験女性143名、男性13名◇被ばく相談2名◇検査相談5名◇配布資料58部

来場者：163名（市民）

(6) 総合健康づくりフェア in 町田

開催日時：平成23年11月5日（土）10時00分～15時30分

会場：町田市健康福祉会館

内容：◇しこり体験71名◇骨密度測定157名◇相談2名

来場者：230名（市民）

(7) 第22回OTAふれあいフェスタ2011

開催日時：平成23年11月12日（土）～13日（日）10時00分～16時00分

会場：平和島競艇場内水の広場

内容：12日◇骨密度測定380名◇しこり体験女性234名、男性23名

13日◇骨密度測定400名◇しこり体験女性186名、男性42名、小児30名

来場者：1,295名（市民）

(8) 日暮里春まつり

開催日時：平成24年3月24日（土）11時00分～16時00分

会 場：日暮里駅前イベント広場

内 容：◇しこり体験女性12名、男性6名、相談14名

来 場 者：38名（市民）

(9) ピンクリボンウォーク2012

開催日時：平成24年3月25日（日）9時00分～15時00分

会 場：日比谷公園（東京都千代田区）

内 容：◇しこり体験女性73名、男性9名、相談4名

来 場 者：86名（市民）

3. 放射線機器および資材の改良に関する事業

各種学会や研修会に協力し、医用放射線機器の改良に努力し、もって都民に保健衛生向上に寄与した。

4. 関連団体との連携協調に関する事業

本会では関連機器団体との懇親と調和を目的として、“2012年新春のつどい”を開催した。

開催日時：平成24年1月6日（金）19時00分～20時30分

会場：ホテルラングウッド（荒川区東日暮里）

参加者：173名

5. 図書印刷物の刊行物に関する事業

放射線技術関連学術雑誌「東京放射線」（月刊）を発行し、診療放射線技師・エックス線技師へ有償にて配布、放射線技術・学術の向上並びに職業倫理の高揚を図った。また、全国の診療放射線技師養成校・放射線関連機関・団体及び国立国会図書館並びに放射線技師教育関係、各都道府県技師会に寄贈した。

誌名「東京放射線」月刊 昭和37年12月13日第三種郵便物認可

発行状況	ページ数	発行年月日
第58巻 第4号（通巻683号）	40	H23.4.1
第5号（通巻684号）	56	
第6号（通巻685号）	46	
第7号（通巻686号）	48	
第8号（通巻687号）	56	
第9号（通巻688号）	32	
第10号（通巻689号）	40	
第11号（通巻690号）	40	
第59巻 第1号（通巻691号）	56	
第2号（通巻692号）	48	
第3号（通巻693号）	44	

主な掲載記事

- 1) 卷頭言 11回
- 2) 東放技ニュース 11回
- 3) NEWS拾い読み 10回
- 4) サーベイボランティア派遣に関する報告 3回
- 5) 震災と原子力災害に関する記事 1回
- 6) 震災報道の中からちょっといい話 4回
- 7) 行政まつりに関する記事 4回
- 8) 非造影剤MRAを極める 1回
- 9) 誌上講座 放射線治療 9回
- 10) 定期総会議事録 2回
- 11) 学術奨励賞論文 1回
- 12) 特別講演会（抄） 2回
- 13) 学術研修会・きめこまかな生涯教育に関する記事 6回
- 14) 東京都放射線技師会行事に関する記事 2回
- 15) 支部・地区活動報告に関する記事 6回
- 16) 委員会報告に関する記事 1回
- 17) 日本放射線技師会関連記事 1回
- 18) パイプライン 11回

その他、会員からの寄稿文など多数掲載

主な贈呈先

東京都総務局行政指導課、東京都衛生局医務部医務課、東京都郵政局郵政部事業課第二業務課、国立国会図書館、都立医療技術短大附属図書館、東京歯科大学図書館、慶應大学医学情報センター、駒澤大学図書館、（株）アンダーライン、日本化学生物学情報センター、社団法人日本放射線技師会、公益社団法人日本放射線技術学会、道府県放射線技師会、全国診療放射線技師養成機関など

6. その他、法人の目的達成に必要な事業

1) 本会活動の目標スローガンに基づく事業

- (一) チーム医療の推進
- (二) 地球環境と調和した画像診断技術の向上
- (三) 生涯教育・専門教育の推進

以上、スローガン達成のため特別委員会を設け活動した。

2) ボランティア活動

小さなボランティアとして使用済み切手収集活動

使用済み切手を日本キリスト教海外医療協力隊へ送付 協力施設名：昭和大学病院、メディカルプランチ社等

II 活動報告

1. 三役・専門部

【平成23年4月】

- 2日（土）：日放技事務所検討委員会／ビッグサイト・サーベイ訪問
3日（日）：五役会
4日（月）：総務・庶務委員会
5日（火）：中央医療技術専門学校入学式参列
6日（水）：第1回拡大理事会／初校
8日（金）：城西放射線技術専門学校入学式参列／経理事務作業／編集委員会
10日（日）：ビッグサイト・サーベイ活動訪問
12日（火）：東京電子専門学校入学式参列
13日（水）：第1回五役会／20年勤続記念品準備／学術教育委員会
14日（木）：表彰委員会準備作業／看護フェスタ打ち合わせ／ひぐらし管理組合解散式出席
15日（金）：表彰委員会
16日（土）：福利調査事務作業／四谷監査法人と決算作業
17日（日）：日本医療科学大学入学式参列
18日（月）：第61回総会表彰者賞状作成依頼／青焼き／期末監査準備
19日（火）：福利調査委員会／庶務作業
20日（水）：平成22年度期末監査
22日（金）：新任役員研修会
23日（土）：多摩支部緊急チャリティー講演会
24日（日）：ビッグサイトから味の素スタジアムにサーベイ機材等移動
26日（火）：第1回日暮里塾ワンコインセミナー
27日（水）：広報委員会／庶務作業／城北支部合同委員会
28日（木）：第1回専門部理事会

【平成23年5月】

- 2日（月）：経理委員会
6日（金）：第2回理事会／初稿
9日（月）：日放技30年・50年表彰決定通知発送
10日（火）：経理事務作業／庶務作業／日暮里塾ワンコインセミナー打ち合わせ
12日（木）：編集委員会／広報委員会／ホームページ委員会
13日（金）：笹川記念会館総会打ち合わせ／学術教育委員会
14日（土）：経理事務作業／福利調査事務作業
15日（日）：看護フェスタ2011
16日（月）：経理事務作業
17日（火）：味の素スタジアム・サーベイ撤収／三校
18日（水）：第2回五役会
19日（木）：第2回日暮里塾ワンコインセミナー
20日（金）：第61回定期総会準備／青焼き／東京放射線

治療技術研究会立会い

- 21日（土）：東京部会春季学術大会出席（来賓挨拶）／総務・庶務委員会／第61回定期総会における市民公開講座講師と懇談
23日（月）：第61回定期総会資格審査委員会
24日（火）：（社）東京都病院薬剤師会総会出席／第61回定期総会準備／福利調査委員会
25日（水）：会費請求作業
26日（木）：都庁より避難所担当部長來訪／第2回専門部理事会
27日（金）：（社）東京都看護協会総会出席／都庁へ書類提出
28日（土）：第61回定期総会
31日（火）：第10地区委員会

【平成23年6月】

- 1日（水）：日放技第70回定期総会代議員大会
2日（木）：第3回理事会（拡大）
5日（日）：JJN（城西）同窓会総会出席
6日（月）：都内避難所サーベイ活動報告会／公益認定のための書類作成／経理事務作業
8日（水）：第43回きめこまかな生涯教育／庶務作業／経理事務作業
9日（木）：第43回きめこまかな生涯教育／住友生命と拠出型年金の報告
10日（金）：都庁申請書類準備／第43回きめこまかな生涯教育／初校
11日（土）：第70回日放技定期総会／日放技教育委員幹事会／学術教育郵送作業
13日（月）：都庁公益法人係訪問（事業年度終了に伴う諸報告書提出）／中央区健康福祉まつり打ち合わせ／再校・会誌取納書庫整理
15日（水）：第3回五役会
17日（金）：会費請求処理、東京放射線治療技術研究会立会い
18日（土）：ボウリング大会準備の事務処理
18日（土）～19日（日）：旧地球環境委員会委員と意見交換
21日（水）：四谷監査法人にて打ち合わせ／編集委員会
22日（水）：会費請求処理／福利調査委員会／四校
23日（木）：学術教育委員会
25日（土）：第12回FRT研修会出席／中央放射線学会出席／ボウリング大会準備の事務処理／経理事務作業
26日（日）：第5地区日暮里駅前清掃活動
28日（火）：事務職員と懇談／青焼き
29日（水）：ボウリング大会準備による事務処理
30日（木）：第3回専門部理事会

【平成23年7月】

- 1日（金）：会員親睦ボウリング大会準備
2日（土）：会員親睦ボウリング大会
3日（日）：庶務作業
4日（月）：ボウリング大会経理処理
6日（水）：広報委員会
7日（木）：第4回理事会
9日（土）：四谷監査法人と打ち合わせ
12日（火）：第3回日暮里塾ワンコインセミナー
13日（水）：公益認定の書類作成
14日（木）：城南支部研修会／学術教育委員会
15日（金）：公益認定の書類作成／東京放射線治療技術研究会事務所使用立会い
16日（土）：四谷監査法人と打ち合わせ／福利調査事務作業
18日（月）：福島県放射線技師会・鈴木会長通夜参列
20日（水）：第4回五役会／第6地区委員会
22日（金）：編集委員会
27日（水）：第10地区委員会
28日（木）：第4回専門部理事会兼役員納涼会
29日（金）：第11地区チャリティー講演会
31日（日）：多摩放技連合会夏季レクリエーション大会・情報交換会出席

【平成23年8月】

- 1日（月）：編集部・ホームページ委員会合同情報交換会
2日（火）：東日本大震災義援金集計作業
3日（水）：経理事務作業／庶務作業／初稿
4日（木）：涉外事務作業（日放技30年・50年表彰）
5日（金）：涉外事務作業（日放技30年・50年表彰）／プロジェクトアドバイザリーワークshop
9日（火）：庶務作業／プロジェクトアドバイザリーワークshop
11日（木）：編集委員会
13日（土）：福利調査事務作業
15日（月）：公益認定の書類作成／経理事務作業／三校
17日（水）：庶務作業
18日（木）：青焼き
20日（土）：庶務作業／福利調査事務作業
21日（日）：フレッシャーズセミナー
22日（月）：涉外事務作業（日放技30年・50年表彰）
23日（火）：涉外事務作業（日放技30年・50年表彰）
24日（水）：広報委員会／涉外事務作業（日放技30年・50年表彰）
25日（木）：第5回専門部理事会
27日（土）：第10回サマーセミナー

【平成23年9月】

- 1日（木）：第5回理事会（拡大）／初稿
3日（土）：青森学術大会登録作業
4日（日）：千葉県放射線技師会レクリエーション大会

参加／青森学術大会経理作業

- 6日（火）：学術教育委員会／庶務作業
7日（水）：編集委員会
8日（木）：第11回合同学術講演会
9日（金）：東京放射線治療技術研究会事務所使用立会い
10日（土）：福利調査事務作業
11日（日）：基礎技術講習「一般撮影」
13日（火）：広報委員会／結研にてマンモ講習打ち合わせ及び施設見学
15日（木）～18日（日）：第27回診療放射線技師総合学術大会／青焼き
17日（土）：JJN同窓会出席（青森学術大会会場近傍にて）／全国会長会議（青森学術大会会場にて）
20日（火）：経理事務作業
21日（水）：経理事務作業／渉外事務作業（平成23年度秋叙勲）
23日（金）：中間監査準備作業
24日（土）：四谷監査法人と打ち合わせ／福利調査事務作業
26日（月）：福利調査委員会
27日（火）：第4回日暮里塾ワンコインセミナー／第5回五役会（台風のため21日より延期）
29日（木）：第6回専門部理事会
30日（金）：城北支部研修会／ピンクリボン in 東京2011参加

【平成23年10月】

- 4日（火）：学術教育委員会／日放技永年勤続申請準備
5日（水）：庶務作業
6日（木）：第6回理事会／初稿
8日（土）：四谷監査法人と打ち合わせ／アンケート調査関係作業
9日（日）：サンマークシティーまちびらきイベント参加
10日（木）：公益認定関連資料作成の事務作業
11日（火）：広報委員会／社団法人東京都臨床検査技師会との懇談会
12日（水）：第44回きめこまか生涯教育／編集委員会
13日（木）：日放技永年勤続申請準備／庶務作業
14日（金）：南関東地域及び関東甲信越拠大会長会議
15日（土）～16日（日）：平成23年度関東甲信越放射線技師学術大会（甲府）
16日（日）：第5地区荒川河川敷清掃活動
17日（月）：庶務作業
19日（水）：第6回五役会／SR委員会開催／青焼き
20日（木）：四谷監査法人と打ち合わせ
21日（金）：東京放射線治療技術研究会事務所使用立会い
22日（土）：中間監査準備／四谷監査法人と打ち合わせ／アンケート調査関係作業
23日（日）：立川防災航空祭参加／中央区健康福祉まつり2011参加

- 24日（月）：新春企画準備（新春座談会収録）
 25日（火）：福利調査委員会／庶務作業（中間監査準備）／日放技永年勤続申請準備／第10地区委員会
 26日（水）：平成23年度中間監査
 27日（木）：第7回専門部理事会
 29日（土）：東京都柔道接骨師診療放射線技師会と懇談
 31日（月）：総務・庶務委員会

【平成23年11月】

- 2日（水）：第7回理事会（拡大）／都庁管理法人課へ
 公益法人申請のため訪問／初稿
 4日（金）：日放技永年勤続表彰推薦書発送
 5日（土）：町田市第6回総合健康づくりフェア参加
 6日（日）：日放技レントゲン週間イベント
 9日（水）：編集委員会／アンケート調査準備作業
 10日（木）：学術教育委員会／経理事務作業
 11日（金）：城東支部研修会
 12日（土）：公益認定関連資料作成のため事務作業／
 OTAふれあいフェスタ2011参加／アンケート調査準備作業
 13日（日）：公益認定関連資料作成のため事務作業／
 OTAふれあいフェスタ2011参加／庶務作業
 15日（火）：アンケート調査準備作業
 16日（水）：第7回五役会
 17日（木）：第14回メディカルマネジメント研修会／青焼き
 19日（土）：日放技教育委員会幹事会
 20日（日）：第5地区日暮里駅前清掃活動
 21日（月）：福利調査委員会／アンケート発送作業／会計士と打ち合わせ
 22日（火）：第6回日暮里塾ワンコインセミナー
 23日（水）：会計士と打ち合わせ
 24日（木）：第8回専門部理事会
 25日（金）：東京放射線治療技術研究会事務所使用立会い、
 26日（土）：第51回多摩放射線技師連合会総会出席
 27日（日）：（公社）東京都柔道接骨師会第15回法制研究会にて講演
 28日（月）：広報委員会／総務・庶務委員会
 29日（火）：第三種郵便物の定期調査書作成及び郵送
 30日（水）：都庁・チーム医療講演会出席／日本医療科学大学にて講義／編集委員会

【平成23年12月】

- 1日（木）：日放技臨時総会代議員大会／初稿
 2日（金）：庶務作業／医療従事者ネットワーク連絡会出席（都庁）
 3日（土）：第8回理事会・第18回役員研修会
 5日（月）：経理事務作業
 6日（火）：庶務作業

- 7日（水）：会誌掲載広告原稿の確認作業
 8日（木）：編集委員会
 10日（土）：第4地区研修会
 11日（日）：第71回日放技総会
 14日（水）：第8回五役会／第1地区情報交換会
 15日（木）：公益認定関連資料作成の事務作業／三校
 16日（金）：広報委員会／東京放射線治療技術研究会事務所使用立会い
 17日（土）：公益認定関連資料作成の事務作業／新春のつどい演奏者との打ち合わせ／福利調査事務作業／青焼き
 19日（月）：涉外事務作業（表彰関係）
 20日（火）：第6回日暮里塾ワンコインセミナー／涉外事務作業（表彰関係）
 21日（水）：涉外事務作業（表彰関係）
 22日（木）：第9回専門部理事会
 24日（土）：X線CT認定講習会立会い（南関東地域：千葉）
 28日（水）：事務所納め

【平成24年1月】

- 2日（月）：経理作業（新春のつどい準備）
 4日（水）：事務所開き
 5日（木）：第9回理事会
 6日（金）：新春のつどい
 7日（土）：経理作業（新春のつどい集計）
 9日（月）：初校
 10日（火）：特例民法法人概況調査票作成／涉外事務作業（厚生労働大臣表彰申請手続き）
 11日（水）：涉外事務作業（厚生労働大臣表彰申請手続き）
 12日（木）：涉外事務作業（厚生労働大臣表彰申請手続き）／編集委員会／学術教育委員会
 13日（金）：涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）
 14日（土）：四谷監査法人と打ち合わせ／経理作業／庶務作業
 16日（月）：特例民法法人概況調査票を提出（都庁）／
 涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）／第10地区委員会
 17日（火）：第7回日暮里塾ワンコインセミナー
 18日（水）：第9回五役会
 19日（木）：ホームページ委員会／アンケート調査集計作業／青焼き
 20日（金）：多摩支部研修会／東京放射線治療技術研究会事務所使用立会い
 22日（日）：学術事務作業
 24日（火）：表彰委員会／庶務作業
 25日（水）：定款諸規定検討委員会／経理作業（支払調書作成）
 26日（木）：第10回専門部理事会
 27日（金）：涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書

作成)

- 28日（土）：第10回ウインターセミナー
29日（日）：庶務作業
30日（月）：涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）／福利調査委員会
31日（火）：涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）

【平成24年2月】

- 1日（水）：涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）
2日（木）：第10回理事会（拡大）／涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）／初稿
3日（金）：庶務作業
4日（土）：日本消化器がん検診学会出席／東京都歯科衛生士会新春のつどい出席
6日（月）：定款諸規定検討委員会／東京都功労者表彰推薦書提出／20年永年勤続表彰対象者文書発送
7日（火）：総会実行委員会／選挙管理委員会／小野賞推薦依頼発送／総会打ち合わせ
8日（水）：都庁訪問（東京都功労者表彰推薦書提出）／編集委員会
9日（木）：第13地区研修会／守家留雄（元理事）氏通夜参列
10日（金）：結研マンモ講習会終了式／涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）／庶務作業
11日（土）：南関東拡大会長会議（千葉）／結研マンモ研修会総会出席
12日（日）：結研マンモ講習会出席
13日（月）：定款諸規定検討委員会／涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）
14日（火）：医療従事者ネットワーク講演会／經理事務作業／東京都功労者表彰推薦書類再提出
15日（水）：第10回五役会／第45回きめこまかな生涯教育／涉外事務作業（東京都功労者表彰推薦文書作成）
16日（木）：第45回きめこまかな生涯教育
17日（金）：（社）東京都臨床検査技師会創立60周年記念式典・祝賀会出席／青焼き
18日（土）：第12地区研修会／第8地区研修会／福利調査事務作業
19日（日）：東京都臨床検査技師会学会出席／実習施設指導者グレードアップ講習会／第13回臨床実習指導教員認定試験立会い

20日（月）：第1地区研修会／經理事務作業

- 21日（火）：東京都功労者表彰推薦書類追加提出／第18回マスターズコミュニティー／第45回きめこまかな生涯教育／住友生命と傷害保険について打ち合わせ
22日（水）：（社）東京都看護協会総会出席／定款諸規定検討委員会／第45回きめこまかな生涯教育
23日（木）：第11回専門部理事会
24日（金）：第5地区のつどい
25日（土）：他県技師会と懇談／総会準備作業
27日（月）：資格審査委員会

【平成24年3月】

- 1日（木）：第11回理事会／初校
2日（金）：庶務作業
3日（土）：第62回定期総会
5日（月）：經理事務作業
6日（火）：ペイシエントケア学術大会特別講演講師似鳥教授訪問
7日（水）：東洋公衆衛生学院卒業式参列／東京大学医学部附属病院放射線部訪問
8日（木）：城西放射線技術専門学校卒業式参列／登記関連会議／学術教育委員会／編集委員会
9日（金）：中央医療技術専門学校卒業式参列
10日（土）：日本医療科学大学卒業式参列／福利調査事務作業
11日（日）：日放技総会運営委員会
12日（月）：庶務作業
13日（火）：第8回日暮里塾ワンコインセミナー
15日（木）：登記関連会議／印刷会社と総会資料作成の打ち合わせ
16日（金）：東京電子専門学校卒業式参列
17日（土）～18日（日）：第5地区委員会・富津海岸清掃活動
18日（日）：日放技教育委員会議
19日（月）：經理事務作業／庶務作業／青焼き
20日（火）：日暮里駅前清掃活動
21日（水）：公益社団法人認定書受取及び他書類の司法書士への委託／五役会
23日（金）：広報委員会
24日（土）：日暮里春まつり音楽フェス2012
25日（日）：ピンクリボンウォーク2012参加
27日（火）：表彰委員会／決算準備作業
28日（水）：第10地区委員会／庶務作業
29日（木）：第12回専門部理事会

2. 各地区共通活動

総会・研修会・生涯教育学術大会・スポーツ大会等の東放技主催事業への協力。会員増員への啓発活動、会員名簿のメンテナンス、東放技会と会員間の案内活動等とその活動報告。

3. 地区活動報告

【第1地区】地区委員会開催10回

◇城東支部合同委員会 平成23年6月14日

参加人数：会員20人（第1地区より5人）

◇地区情報交換会 平成23年7月31日

参加人数：会員8人

◇城東支部研修会 平成23年11月11日

参加人数：会員50人、他職種2人

◇地区情報交換会 平成23年12月14日

参加人数：会員10人

◇地区研修会 平成24年2月20日

参加人数：会員85人

【第2地区】地区委員会開催6回

◇城東支部合同委員会 平成23年6月14日

参加人数：会員20人（第2地区より2人）

◇城東支部研修会 平成23年11月11日

参加人数：会員50人、他職種2人

◇地区情報交換会 平成23年11月15日

参加人数：会員7人

【第3地区】地区委員会開催6回

◇地区情報交換会 平成24年1月20日

参加人数：会員5人

【第4地区】地区委員会開催7回

◇城南支部研修会 平成23年7月14日

参加人数：会員63人、非会員19人、他職種1人

◇地区情報交換会 平成23年8月17日

参加人数：会員16人

◇地区研修会 平成23年12月10日

参加人数：会員80人、非会員15人

【第5地区】地区委員会開催6回

◇城北支部情報交換会 平成23年4月27日

参加人数：会員32人

◇城北支部研修会 平成23年9月30日

参加人数：会員82人

◇荒川河川敷清掃活動 平成23年10月16日

参加人数：会員4人、他職種2人、子供5人

◇日暮里駅前清掃活動 平成23年11月20日

参加人数：会員7人、他職種1人、子供4人

◇第5地区研修会 平成24年2月24日

参加人数：会員33人、非会員13人

◇富津海岸親睦清掃活動 平成24年3月17日～18日

参加人数：会員10人、

◇日暮里駅前清掃活動 平成24年3月20日

参加人数：会員7人、子供5人

【第6地区】地区委員会開催6回

◇城北支部情報交換会 平成23年4月27日

参加人数：会員32人

◇地区情報交換会 平成23年7月20日

参加人数：会員8人

◇城北支部研修会 平成23年9月30日

参加人数：会員82人

◇地区情報交換会 平成24年1月18日

参加人数：会員11人

【第7地区】地区委員会開催3回

◇城東支部合同委員会 平成23年6月14日

参加人数：会員20人（第7地区より3人）

◇城東支部研修会 平成23年11月11日

参加人数：会員50人、他職種2人

【第8地区】地区委員会開催6回

◇城南支部研修会 平成23年7月14日

参加人数：会員63人、非会員19人、他職種1人

◇地区情報交換会 平成23年8月3日

参加人数：会員30人、非会員2人

◇地区研修会 平成24年2月18日

参加人数：会員35人

【第9地区】地区委員会開催8回

◇地区情報交換会 平成23年12月22日

参加人数：会員10人

【第10地区】地区委員会開催6回

【第11地区】地区委員会開催9回

◇城南支部研修会 平成23年7月14日

参加人数：会員63人、非会員19人、他職種1人

◇第11地区チャリティー講演会 平成23年7月29日

参加人数：会員12人、非会員2人

◇地区夏期情報交換会 平成23年8月26日

参加人数：会員9人、非会員6人

◇地区春期情報交換会 平成24年2月17日

参加人数：会員11人、非会員4人

【第12地区】地区委員会開催5回

◇多摩支部緊急チャリティー講演会 平成23年4月23日

参加人数：会員54人、他職種23人、学生43人

◇多摩支部研修会 平成24年1月20日

参加人数：会員60人、他職種4人

◇多摩支部情報交換会 平成24年1月20日

参加人数：会員15人、

◇地区研修会 平成24年2月18日

参加人数：会員20人

◇地区情報交換会 平成24年2月18日

参加人数：会員12人

【第13地区】地区委員会開催6回

◇多摩支部緊急チャリティー講演会 平成23年4月23日

参加人数：会員54人、他職種23人、学生43人

◇立川防災航空祭 平成23年10月23日

来場者：95人（市民）

◇総合健康づくりフェアin町田 平成23年11月5日
来場者：230人（市民）
◇多摩支部研修会 平成24年1月20日
参加人数：会員60人、他職種4人
◇多摩支部情報交換会 平成24年1月20日
参加人数：会員15人
◇地区研修会 平成24年2月9日
参加人数：会員26人
【第14地区】地区委員会開催7回
◇城東支部合同委員会 平成23年6月14日
参加人数：会員20人（第14地区より10人）
◇城東支部研修会 平成23年11月11日
参加人数：会員50人、他職種2人
◇地区研修会 震災のため中止
【第15地区】地区委員会開催7回
◇城南支部研修会 平成23年7月14日
参加人数：会員63人、非会員19人、他職種1人
【第16地区】地区委員会開催8回
◇城北支部情報交換会 平成23年4月27日
参加人数：会員32人
◇城北支部研修会 平成23年9月30日
参加人数：会員82人

4. 支部別活動報告

城東支部研修会1回
城南支部研修会1回
城北支部研修会1回
多摩支部研修会1回

5. 特別委員会報告

【表彰委員会】委員会開催3回

◇主な活動内容

- 1) 叙勲推薦
- 2) 東京都功労者表彰推薦
- 3) 保健文化賞推薦
- 4) 永年勤続表彰者推薦

◇委員会

第1回委員会 平成23年4月15日
第2回委員会 平成24年1月24日
第3回委員会 平成24年3月27日

【定款・諸規定検討委員会】委員会開催4回

◇主な活動内容

- 1) 公益社団法人移行に向け、定款及び諸規程の修正案を作成

◇委員会

第13回委員会 平成24年1月25日
第14回委員会 平成24年2月6日
第15回委員会 平成24年2月13日
第16回委員会 平成24年2月22日

【将来検討委員会】委員会開催6回

◇主な活動内容

- 1) 平成23年5月より名称をSR委員会とした
- 2) 検討項目
 - ・新入会の促進
 - ・退会対策
 - ・未納退会者対策
 - ・会員へのサービス
 - ・会費の納入方法について

◇委員会

第1回委員会 平成23年4月26日
第2回委員会 平成23年5月24日
第3回委員会 平成23年6月28日
第4回委員会 平成23年10月20日
第5回委員会 平成23年11月9日
第6回委員会 平成24年1月24日

【ホームページ委員会】委員会開催11回

◇主な活動内容

- 1) 毎月1~5日にホームページの定期更新
- 2) 東京都放射線技師会主催行事：研修会・イベント開催案内
- 3) 関係団体主催行事：研修会・イベント開催案内
- 4) 学術大会等開催案内
- 5) その他、随時ページ作成・更新

◇委員会

第1回委員会 平成23年4月6日
第2回委員会 平成23年5月12日
第3回委員会 平成23年6月20日
第4回委員会 平成23年7月21日
第5回委員会 平成23年8月19日
第6回委員会 平成23年9月27日
第7回委員会 平成23年10月27日
第8回委員会 平成23年11月14日
第9回委員会 平成23年12月27日
第10回委員会 平成24年2月27日
第11回委員会 平成24年3月19日

Ⅲ活動報告 (庶務概要)

1. 会員数

平成23年末

	会員数	増	減	差引
正会員	1792	110	80	30
賛助会員	196	0	12	△12
計	1988	110	92	18

※会費滞納退会者は除く

2. 平成23年度会員動向

新入会員 (90名)

第1地区

丸橋 一夫	日本大学歯学部付属歯科病院	再
山田美彩子	東京通信病院	
須藤 至	三井記念病院	
関 道行	三井記念病院	
生田 詳子	日本がん知識普及協会付属有楽町 電気ビルクリニック	
宮里 譲	三井記念病院	再

第2地区

金井健太郎	永寿総合病院
上村 亮介	台東区立台東病院
柳井 宏之	メディカル・エキスパート(株)
塩口 光也	台東区立台東病院
島田 諭	浅草病院

第3地区

岡谷 昂亮	慶應義塾大学病院	再
岡本 淳一	東京医科大学病院	
外間 希	伊藤外科	
滝沢 理恵	新宿追分クリニック	
押田奈奈子	新宿追分クリニック	
横川 仁美	大久保病院	
木本 恵実	東京都予防医学協会	
城生 葵	慶應義塾大学病院	
宗友 郁子	慶應義塾大学病院	

第4地区

池田 志綱	東京都済生会中央病院
佐々木達也	JR東京総合病院
鈴木真梨子	芝病院
中嶋 直人	北里大学北里研究所病院
渡辺 哲也	東京慈恵会医科大学附属病院
深野 雅敬	東京都済生会中央病院
板倉 智	医療法人社団平郁会

第5地区

高野 直	順天堂大学医学部附属順天堂医院
齊藤 雅志	順天堂大学医学部附属順天堂医院
五十嵐正貴	東京健生病院
中田 健太	東京大学医学部附属病院

第6地区

伊佐 理嘉	博慈会記念総合病院
米澤 俊和	イムス葛飾ハートセンター
新倉脩央希	成仁病院
田中 功	東京女子医科大学東医療センター
鈴木 利幸	東部地域病院
丸山 里紗	新柴又駅前クリニック
曾根 辰徳	東京女子医科大学東医療センター
齋藤 央佳	岡田病院

第7地区

寺嶋 元一	東京臨海病院
澤田 勝利	東京臨海病院

第8地区

吉田 直貴	牧田総合病院
飯塚 韶子	東邦大学医療センター大森病院
棚橋 陽介	昭和大学病院
沼生加奈子	昭和大学病院
峯岸健太郎	昭和大学病院
岡野 磨人	NTT東日本関東病院
遠藤 敦	昭和大学歯科病院

第9地区

大畠 韶之	敬愛病院
齊藤 雅人	高島平中央総合病院
比嘉さつき	閑野病院
飯田由利恵	豊島健康検査センター
三澤美佳子	豊島健康検査センター
川尻 高主	板橋中央総合病院
原 はるな	板橋中央総合病院
白木 弘	成増厚生病院
進藤 学	板橋中央総合病院
疋田 礼	板橋中央総合病院

第10地区

藤村 拓未	立正佼成会附属佼成病院
落合 香那	河北総合病院
最上 美和	順天堂大学医学部附属練馬病院
塚原 智子	順天堂大学医学部附属練馬病院
渡邊 彰	順天堂大学医学部附属練馬病院

倉橋 美佳	東京衛生病院
酒井 浩	横鼻外科胃腸科病院
柴木 祥平	東京衛生病院
****	****
草間 正造	河北総合病院
野口 健	河北総合病院

第11地区

新石 賢次	自衛隊中央病院
山本 晋平	千歳台はなクリニック
長谷川佳代	自衛隊中央病院
下村 聰	自衛隊中央病院

第12地区
中山 梢 一橋病院
高垣 和幸 八王子山王病院
川村 和彦 一橋病院

第13地区
仲野 貴夫 田村クリニック 再
富山亜沙実 右田病院
永田 安理 立川北口健診館
田中 直也 みたか中村脳神経外科クリニック 再
越智さゆり 武藏野陽和会病院
内山 佳洋
多田 堅 東京西徳洲会病院 再
高村 晃弘 タウンクリニック
高嶋 恵子 東京医科大学八王子医療センター

第14地区
波平 直人 化学療法研究所附属病院
松村 育紀 行徳総合病院

第15地区
長田 安芸 総合新川橋病院
畠山真紀美 神内科

第16地区
上條 由貴 みさと健和病院

転入 (20名)

第1地区
安藤 章 株島津製作所東京支店
佐山 洋 文部科学省
寺田 桂子 健康医学協会付属東都クリニック
朝日 和也 アムス丸の内パレスビルクリニック

第2地区
小泉 信絃
伊東恵美子

第3地区
大竹 真央 東京都予防医学協会

第4地区
廣田 彰子
大山 葉子 パークサイドクリニック

第5地区
穎原 秀幸 コニカミノルタヘルスケア(株)
斎藤 久美 国立スポーツ科学センター
伊藤 麻里 国立印刷局東京病院

第6地区
小岩 麻子 井上病院

第7地区
川崎史緒理 都立墨東病院

第8地区
外間 亮子 ナグモクリニック
野原 賢 萌原病院

第10地区
佐々木美和
第13地区
青木 麻美 八王子スポーツ整形外科
栗井 一夫 横原記念病院
大久保敏治 (株)フリール

転出 (13名)

第3地区
＊＊＊＊
第4地区
鶴田 智司 東京慈恵会医科大学附属病院→宮崎県へ
第5地区
中村 浩英 東京大学医学部附属病院→京都府へ
第6地区
倉田 絵里
第10地区
佐々木祐介 立正佼成会附属佼成病院→北海道へ
第13地区
佐藤 典子 立川北口健診館→大分県へ
青木 麻美 八王子スポーツ整形外科→神奈川県へ
＊＊＊＊
第15地区

蜂須賀梨沙 湘南中央病院→神奈川県へ 贊
野島礼美香 昭和大学藤が丘病院→神奈川県へ
南 将之 川崎市立川崎病院→神奈川県へ 贊
石田 真実 昭和大学横浜市北部病院→北海道へ 贊
第16地区
岩永 征博 埼玉協同病院 → 神奈川県へ

編出入 (10名)

瀧澤 代輔 東京慈恵会医科大学附属病院 贊→正
渡邊 藍 昭和大学藤が丘病院 正→贊
村上 晴海 自衛隊横須賀病院 正→贊
門野 太一
高橋 三郎 順天堂大学医学部附属浦安病院 正→贊
寺島 宰 三郷中央総合病院 正→贊
広井 典夫 国立東埼玉病院 正→贊
白鳥 紗子 八潮中央総合病院 正→贊
石川 雅也 日本医科大学附属病院 贊→正
吉田 真久 芝病院 贊→正

退会 (79名)

第1地区
窪 浩一 朝日生命成人病研究所付属丸の内病院
秋元 重蔵 出版健保組合診療所
片野 修一 お茶の水駿河台クリニック
鎌田 信悟 三菱商事(株)人事部(診療所)
勝呂 和以 JFEスチール株式会社

第2地区

竹之内真紀 KKC ウエルネス 東京診療所
 吉澤 英晃 東京証券業健康保険組合 診療所
 鈴木 朋之 浅草寺病院
 竹之内真紀 土田 静男 永寿総合病院
 目黒 花子 浅草寺病院

第3地区

池田 佳奈 東京電力病院
 塩田 政次 慶應義塾大学病院
 谷口 良徳 山岸善九郎 東京都予防医学協会

第4地区

村本 綾子 富士フィルム(株)
 森下 儀和 新赤坂クリニック
 大場 泰幸 東京都済生会中央病院
 金田 伸一 東京大学医科学研究所附属病院
 小阪 誠 新橋青木クリニック
 佐藤 春雄 愛育病院
 鈴木 英一 社会保険中央総合病院

第5地区

広井 成美 印刷局東京病院
 藤浪 紀洋 東京大学医学部附属病院
 飯田 実 都立駒込病院
 佐藤 智宏 ハイメディック・東大病院
 遠井 起之 赤羽台診療所

第7地区

宮崎 寛子 東葛クリニック 小岩
 岡本 信政 都立東部療育センター

第8地区

服部 良紀 J R 東日本健康推進センター 死去
 鈴木 博 東邦大学医療センター 大森病院
 雲類鶯麻衣 昭和大学病院
 岡部 文夫 昭和大学病院
 四郎丸邦治 ゆたか診療所
 高橋 啓二 品川保健センター
 田中 宏文 ケイアイ飯田橋クリニック
 南波 哲朗 東邦大学医療センター 大森病院
 藤田アリス 昭和大学病院
 堀内 一樹 昭和大学病院
 三浦 康知 東邦大学医療センター 大森病院
 吉岡 貞雄 J R 東日本健康推進センター

第9地区

山岸 一雄 久保田病院
 松崎 信義 愛誠病院
 石澤 正道 日本大学医学部付属板橋病院

第10地区

大平 晃子 立正佼成会附属佼成病院
 佐藤 祐樹 吉川内科小児科病院
 斎藤 隆 大泉病院
 長谷美智子 島村記念病院
 * * * * *

第11地区

石原 泰一 昭和大学烏山病院
 下村 聰 自衛隊中央病院
 藤井 誠

第12地区

小林 影記 公立昭和病院
 佐々木輝雄 公立昭和病院
 中村 進 多摩済生病院

第13地区

齊藤 牧子 立川相互ふれあいクリニック
 齊藤 敏 青梅市立総合病院 死去
 松本 純子 田村クリニック
 鷺池 真吾 武藏野赤十字病院
 反り目隆二
 馬場 修
 平林 久枝
 深澤 渉 東京慈恵会医科大学附属第三病院
 山入端立博 都立府中病院
 鷺見 正一 多摩丘陵病院

第14地区

大蔵 敦夫 東京慈恵会医科大学附属柏病院
 佐藤 和彦
 古宇田 繁 株式会社 グリーンライフ
 青沼 文雄 千葉県予防衛生協会
 高嶋 明彦 勝田台病院
 贊
 贊
 贊
 贊

第15地区

木村 保 関東労災病院
 生稻 俊夫 三菱重工横浜ビル健康管理室
 柴田英三郎 死去
 金田 安夫 片倉病院
 石木田忠雄 熱海ちとせ病院
 助安 義昭 昭和大学横浜市北部病院
 贊
 贊
 贊
 贊

第16地区

石川 雅也
 福島 秀夫 航空自衛隊第4術科学校衛生課
 贊

プラチナ会員動向 (平成23年度理事会承認人数18名)

	正会員	賛助会員	合計
プラチナ会員数	17	1	18

第1地区

村上 年憲 三菱診療所

第2地区

住吉 一彦 商工中金健康管理センター
早川 亨 新富げんかクリニック

第3地区

江島 光弘 東京女子医科大学病院

第4地区

大波 忠 全国設計事務所健康保険組合
山口 廣 中央三井信託銀行健康管理センター
中島 廣行 東急百貨店保健センター
沖本 正治 芝パーククリニック

第5地区

伊藤 秋夫 特定医療法人大坪会小石川東京病院

第6地区

江藤 和弘 足立共済病院

第8地区

植村 義典 社会保険蒲田総合病院

第9地区

根岸 政明 生光会健康管理センター
中山 清 莊病院

第11地区

木田 勝美 ヒルトップクリニック
伊波 達 元・国家公務員共済組合連合会立川病院

第14地区

古澤 良夫 元・ソニー株健康開発センター

第15地区

宮崎 茂 小田原循環器病院

第16地区

佐々木 功 元・JR東京総合病院

3. 会議の回数

総会2回、理事会11回、専門部理事会12回

4. 主な発行資料および文章に関する事項

- (1) 定期総会開催について
- (2) 学術講演会等講師依頼について
- (3) 広告掲載のお願いについて
- (4) 表彰候補者の推薦について
- (5) 入会案内について

5. 平成23年度物故者に関する件（敬称略）

平成23年度における物故会員は次の方々です。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

斎藤 敏 服部 良紀 柴田 英三郎

6. 叙勲等に関する事項（敬称略）

(1) 叙勲

秋の叙勲 瑞宝双光章

乙井 不二夫 平成23年11月4日

(2) 東京都功労者表彰（知事表彰）

山口 廣 平成23年10月3日

(3) 東京都放射線技師会表彰

【学術奨励賞】

野崎 武 昭和大学病院

『末梢血管における非造影MRIの検討～脂肪抑制法を併用した高速SE法を用いた末梢血管描出～』

【小野賞】

第1地区 川田 勇 佐々木研究所附属杏雲堂病院

第3地区 奥山 恒敏 東京電力病院

第5地区 大塚 健司 東京大学医学部附属病院

第10地区 今野 重光 練馬区医師会医療健診センター

第12地区 小笠原 康 医療法人財団立川中央病院

【勤続20年表彰】

第1地区 高野 修彰 東京通信病院

第3地区 谷貝 慶子 東日本労働衛生センター
新宿健診センター

第4地区 飯高 晃治 東京慈恵会医科大学附属病院

第4地区 石丸 幸喜 東京慈恵会医科大学附属病院

第4地区 辻 仁 伊藤病院

第6地区 湯本 進 江戸川病院

第8地区 濱野 浩二 NTT東日本関東病院

第10地区 大泉 聰 陸上自衛隊神町駐屯地医務室

第12地区 鈴木 晋 公立昭和病院

第12地区 能勢 記代 公立昭和病院

第12地区 高坂 知靖 佐々木総合病院

第13地区 秋野 哲男 八王子消化器病院

第13地区 中村 豊 公立福生病院

第15地区 岩井 譲憲 昭和大学藤が丘病院

第16地区 原 浩之 ヘリオス会病院

(4) 日本放射線技師会表彰

【勤続50年表彰】

橋本 光男

【勤続30年表彰】

黒木 陽一 さがみ循環器クリニック

荒井 久勝 朝日生命成人病研究所附属病院

畦元 将吾 株式会社 AZE

塚本 篤子 NTT東日本関東病院

南 忠男 北品川クリニック

三田 豊 東京武蔵野病院

小堀 重信 城西放射線技術専門学校

岡本 孝英 帝京大学附属病院

宮谷 勝巳 松戸市立病院

坂本 曜彦 IHI武蔵健康支援センター

布施 章 東京慈恵会医科大学附属病院

谷島 義信 国立病院機構 霞ヶ浦医療センター

第2号議案 平成23年度決算報告（案）

貸 借 対 照 表

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,364,077	12,682,240	681,837
流動資産合計	13,364,077	12,682,240	681,837
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	0	0	0
建物	31,995,050	32,668,630	△ 673,580
土地	32,749,000	32,749,000	0
特定資産合計	64,744,050	65,417,630	△ 673,580
(3) その他固定資産			
建物附属設備	2,490,127	2,687,880	△ 197,753
什器備品	1,253,215	1,536,507	△ 283,292
電話加入権	10,300	10,300	0
その他固定資産合計	3,753,642	4,234,687	△ 481,045
固定資産合計	68,497,692	69,652,317	△ 1,154,625
資産合計	81,861,769	82,334,557	△ 472,788
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	40,000	65,000	△ 25,000
未 払 金	70,000	0	70,000
預 り 金	9,572	52,308	△ 42,736
流動負債合計	119,572	117,308	2,264
2. 固定負債			
長期借入金	14,635,000	16,855,000	△ 2,220,000
固定負債合計	14,635,000	16,855,000	△ 2,220,000
負債合計	14,754,572	16,972,308	△ 2,217,736
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産合計	12,895,583	12,895,583	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(12,895,583)	(12,895,583)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	54,211,614	52,466,666	1,744,948
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(51,848,467)	(52,522,047)	673,580
正味財産合計	67,107,197	65,362,249	1,744,948
負債及び正味財産合計	81,861,769	82,334,557	△ 472,788

(注) 附属明細書に記載すべき「基本財産及び特定資産の明細」は、財務諸表に対する注記の「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」の記載により、作成を省略している。

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
正会員受取会費	18,550,500	18,588,895	△ 38,395
賛助会員受取会費	2,512,460	3,010,920	△ 498,460
② 事業収益			
研修会事業収益	1,388,772	2,682,000	△ 1,293,228
親睦会事業収益	1,702,200	1,542,000	160,200
③ 受取寄付金	0	1,206,924	△ 1,206,924
④ 雜収益			
受取利息	2,836	5,197	△ 2,361
広告収益	1,505,555	1,946,767	△ 441,212
雑収益	638,103	898,687	△ 260,584
経常収益計	26,300,426	29,881,390	△ 3,580,964
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	1,094,560	1,080,675	13,885
福利厚生費	0	67,507	△ 67,507
会議費	3,964,423	6,567,666	△ 2,603,243
旅費交通費	661,008	1,167,619	△ 506,611
通信運搬費	2,309,284	3,839,840	△ 1,530,556
減価償却費	940,898	926,343	14,555
消耗品費	373,595	293,805	79,790
修繕費	204,672	51,168	153,504
印刷製本費	5,321,301	7,371,839	△ 2,050,538
光熱水料費	93,183	156,694	△ 63,511
管理費	820,704	876,581	△ 55,877
倉庫使用費	169,921	141,601	28,320
保険料	28,863	0	28,863
支払手数料	101,528	126,784	△ 25,256
租税公課	977,009	240,159	736,850
慶弔費	301,545	56,000	245,545
広報関連費	789,675	1,376,135	△ 586,460
研究助成費	50,000	50,000	0
原稿料	242,909	500,000	△ 257,091
諸謝金	394,440	588,328	△ 193,888
図書費	44,445	0	44,445
支払利息	247,549	280,974	△ 33,425
雑費	356,684	894,523	△ 537,839
事業費計	19,488,196	26,654,241	△ 7,166,045

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費			
給料手当	1,094,560	1,080,676	13,884
福利厚生費	0	67,508	△ 67,508
会議費	747,242	1,237,920	△ 490,678
旅費交通費	47,147	83,282	△ 36,135
通信運搬費	177,126	294,523	△ 117,397
印刷製本費	84,198	116,643	△ 32,445
減価償却費	213,727	203,654	10,073
消耗品費	93,399	73,451	19,948
修繕費	51,168	204,672	△ 153,504
光熱水料費	23,296	39,173	△ 15,877
管理費	205,176	219,145	△ 13,969
倉庫使用費	41,759	34,799	6,960
保険料	7,216	0	7,216
支払手数料	25,382	31,696	△ 6,314
租税公課	583,491	260,172	323,319
慶弔費	75,386	14,000	61,386
支払報酬	1,410,550	1,236,000	174,550
支払利息	61,887	70,244	△ 8,357
雑費	54,572	136,859	△ 82,287
管理費計	4,997,282	5,404,417	△ 407,135
経常費用計	24,485,478	32,058,658	△ 7,573,180
当期経常増減額	1,814,948	△ 2,177,268	3,992,216
2. 経常外損益の部			0
(1) 経常外収益			0
過年度損益修正益	0	30,009,034	△ 30,009,034
経常外収益計	0	30,009,034	△ 30,009,034
(2) 経常外費用			0
固定資産除却損	0	648,076	△ 648,076
過年度減価償却費	0	2,767,279	
経常外費用計	0	3,415,355	△ 3,415,355
当期経常外増減額	0	26,593,679	△ 26,593,679
税引前当期一般正味財産増減額	1,814,948	24,416,411	△ 22,601,463
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	1,744,948	24,416,411	△ 22,671,463
一般正味財産期首残高	52,466,666	28,050,255	24,416,411
一般正味財産期末残高	54,211,614	52,466,666	1,744,948
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高	12,895,583	12,895,583	0
III 正味財産期末残高	67,107,197	65,362,249	1,744,948

正味財産増減計算書内訳表
平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	決 算 合 計 (A)	第2回補正予算 (B)	(単位:円) (参考) 差異 (A-B)
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰懇親会	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部									
(1) 経常収益									
① 受取会員費	12,985,000	0	556,000	556,000	5,009,500	18,550,500	20,912,000	0	△ 2,361,500
正会員受取会員費	1,758,000	0	75,000	75,000	679,460	2,512,460			2,512,460
② 事業収益	925,848	462,924	0	462,924	0	1,388,772	1,200,000	188,772	
研修会事業収益	0	0	1,702,200	1,702,200	0	1,702,200	1,800,000	0	△ 97,800
③ 研修会事業収益	0	0	0	0	0	0	40,000		△ 40,000
④ 雑収益	2,836	0	0	0	0	0	6,000		△ 3,164
受取利息	1,505,555	0	0	0	0	1,505,555	1,500,000	0	5,555
広告収益	15,996	283,705	7,716	291,421	330,686	638,103	0		638,103
雑収益	17,193,235	746,629	2,340,916	0	3,087,545	6,019,646	26,300,426	25,458,000	842,426
(2) 経常費用									
① 事業費									
給料手当	744,301	131,347	218,912	350,259	0	1,094,560	1,200,000	0	△ 105,440
福利厚生費	0	0	0	1,452,073	0	3,964,423	4,558,737	0	△ 40,000
会議費	2,512,350	240,329	1,211,744	9,429	65,299	661,008	1,237,718	△ 576,710	△ 594,314
旅費交通費	595,709	55,870	19,927	0	19,927	2,309,284	2,658,118	0	△ 348,834
通信運搬費	2,289,357	19,927	0	0	11,042	940,898	915,305	25,593	
通信運搬費	929,856	7,361	3,681	3,681	0	373,595	648,480	△ 274,885	
減価償却費	368,925	4,670	0	4,670	0	204,672	208,000	0	△ 3,328
消耗品費	204,672	0	0	0	0	5,321,301	7,123,290	0	△ 1,801,989
修繕費	5,231,104	48,098	42,099	90,197	0	93,183	192,000	0	△ 98,817
印刷製本費	92,018	1,165	0	1,165	0	820,704	820,800	0	△ 96
光熱水料費	820,704	0	0	0	0	169,921	170,178	0	△ 257
管理費	169,921	0	0	0	0	28,863	136,000	0	△ 107,137
倉庫使用費	28,502	361	0	361	0	101,528	240,000	0	△ 138,472
保険料	88,837	0	12,691	12,691	0	977,009	144,000	0	△ 833,009
支払手数料	977,009	0	0	0	0	301,545	240,000	0	61,545
租税公課	263,852	0	0	37,693	37,693	789,675	600,000	0	189,675
慶弔費	789,675	0	0	0	0	50,000	50,000	0	0
広報関連費	35,000	15,000	0	15,000	0	242,909	500,000	0	△ 257,091
研究助成費	242,909	0	0	0	0	394,440	400,000	0	△ 5,560
原稿料	292,195	102,245	0	102,245	0	44,445	35,000	0	9,445
諸謝金	32,635	11,810	0	11,810	0	247,549	285,600	0	△ 38,051
図書費	242,908	3,094	1,547	4,641	3,094	356,684	1,268,000	0	△ 911,316
支払利息	318,512	10,886	27,286	38,172	38,172	0	2,217,245	0	
雑費	17,270,951	662,163	1,565,082	0	19,488,196	23,671,226	0	0	△ 4,183,030
事業費計									

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

当法人は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」並びに「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の関連する規定に基づき、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次的方式を採用している。

有形固定資産 定額法

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建 物	32,668,630	0	673,580	31,995,050
土 地	32,749,000	0	0	32,749,000
小 計	65,417,630	0	673,580	64,744,050
合 計	65,417,630	0	673,580	64,744,050

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建 物	31,995,050	—	(31,995,050)	—
土 地	32,749,000	(12,895,583)	(19,853,417)	—
小 計	64,744,050	(12,895,583)	(51,848,467)	—
合 計	64,744,050	(12,895,583)	(51,848,467)	—

4 担保に供している資産

建物31,995,050円（帳簿価額）、土地32,749,000円（帳簿価額）は、長期借入金14,635,000円（平成24年3月31日現在残高）の担保に供している。

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物			
事務所マンション区分所有権	33,678,999	1,683,949	31,995,050
小 計	33,678,999	1,683,949	31,995,050
土 地			
事務所マンション敷地権	32,749,000		32,749,000
小 計	32,749,000		32,749,000
その他固定資産			
建物附属設備			
電気設備工事	170,000	26,576	143,424
スティールパーテイーション	1,079,469	168,756	910,713
スライディング遮音ドア	1,702,082	266,092	1,435,990
小 計	2,951,551	461,424	2,490,127
什器備品			
会旗	1,650,000	1,649,999	1
データプロジェクター	379,050	363,888	15,162
X線測定器	551,250	529,202	22,048
映画用スクリーン	120,058	93,564	26,494
壁面収納	676,691	105,788	570,903
ロールスクリーン	218,449	170,244	48,205
寄付者名盤	500,000	72,917	427,083
プロジェクター	182,960	39,641	143,319
小 計	4,278,458	3,025,243	1,253,215
電話加入権			
固定電話 (03-3806-7724)	10,300		10,300
小 計	10,300		10,300
合 計	73,668,308	5,170,616	68,497,692

6 重要な後発事象

当法人は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」第44条に基づく公益社団法人の認定を受け、平成24年4月1日に公益社団法人への移行登記を行った。

財産目録

平成 24 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	手元保管 <普通預金> 中央三井信託銀行八重洲口支店 1 中央三井信託銀行八重洲口支店 2 みずほ銀行日本橋支店 三井住友銀行日暮里支店 1 <振替貯金> ゆうちょ銀行振替口座 <定期預金> 中央三井信託銀行八重洲口支店	運転資金として 運転資金として 同上 同上 同上 運転資金として 運転資金として <現金・預金計>	171,356 280,301 1,971,419 3,123,732 2,085,143 732,126 5,000,000 13,364,077
流動資産合計				13,364,077
(固定資産)				
特定資産	建物	マンション区分所有権 505号室 119.96m ² 荒川区西日暮里2-411-15	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% <建物計>	31,995,050 25,116,114 479,926 6,399,010 31,995,050
	土地	敷地権 持分2,842.60m ² の100万分の8543 荒川区西日暮里2-411-15	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% <土地計>	32,749,000 25,707,965 491,235 6,549,800 32,749,000
その他の固定資産	建物附属設備	電気設備工事 スティールパーテイション スライディング遮音ドア	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <建物附属設備計>	143,424 114,739 28,685 910,713 728,571 182,142 1,435,990 1,148,792 287,198 2,490,127
	什器備品	会旗 1流 データプロジェクター 1台 X線測定器 1台 映画用スクリーン 1台 壁面収納	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (公益目的保有財産) (公益目的保有財産) (公益目的保有財産) (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	1 1 0 15,162 22,048 26,494 570,903 456,723 114,180

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	什器備品	ロールスクリーン 1台 寄付者名盤 1式	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% (公益目的保有財産) ＜什器備品計＞	48,205 38,564 9,641 427,083 335,261 6,406 85,416 143,319 1,253,215 10,300 8,240 2,060 10,300 3,753,642
	電話加入権	プロジェクター 1台 固定電話1件：03-3806-7724	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% ＜電話加入権計＞	10,300 8,240 2,060 10,300
			＜その他固定資産計＞	13,658,132
固定資産合計				68,497,692 53,861,993 977,567 13,658,132
資産合計				81,861,769
(流動負債)	前受会費	会員からの平成24年度会費	公益目的事業及び収益事業等並びに管理目的の業務に使用する翌事業年度の会費	40,000
	未払金	法人都民税	均等割	70,000
	預り金	事務職員他	源泉所得税他	9,572
流動負債合計				119,572
(固定負債)	長期借入金	中央三井信託銀行新橋支店	公益目的事業及び収益事業等並びに管理目的の業務に使用する土地・建物の購入資金として	14,635,000
固定負債合計				14,635,000
負債合計				14,754,572
正味財産				67,107,197

第3号議案 平成24年度事業計画（案）

平成23年度監査報告書

定款23条に基づき、平成24年4月20日（金）、東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号、公益社団法人 東京都放射線技師会事務所において、平成23年4月1日から平成24年3月31までの会計年度における、会計および業務の監査を平成24年度の公益社団法人 東京都放射線技師会会长、副会長、経理理事、総務理事、庶務理事ならびに公認会計士立会いのもとに行った結果を下記の通り報告する。

記

1. 監査の方法

(1) 会計

経理理事の説明により帳簿ならびに関係書類などを閲覧し、監査手続きに則り、会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を詳細に監査した。

(2) 事業

三役、総務理事、庶務理事らの説明により事業計画案に基づいた事業の報告と関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きに則り、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査の結果

(1) 会計

帳簿ならびに関係書類などを閲覧し、会計簿と記載金額とが一致し、法人の収支状況および財産状況を正しく示していると認める。

(2) 事業

平成23年度事業計画に基づき、事業ならびに会務の運営は順調に推進したことを認める。

以上

平成24年4月20日

監事 中澤靖夫 印

監事 佐藤清榮 印

*監事・佐藤清榮は監督官庁の指導による会員外監事であります。

第4号議案 平成24年度事業計画（案）

1. 総括

今われわれはさまざまな板ばさみになっている。「経済と温暖化」「エネルギーと原子力」「市場と内政」「景気と増税」等々である。

もともと拮抗するものが入り混じったり一方の力で抑えられたりしていたものが何かのきっかけで噴出する。または歴史的な転換点になったり技術革新・社会構造の大変革になったりする。昨年はそのような出来事が実に多かった年である。未曾有の大震災、原子力事故、日本や世界中で頻発した水害、欧州経済危機、中東の春、円高、TPP…。

自然の容赦ない力に呆然とするだけでなく、何百キロも離れた福島の人々に大きなリスクを背負わせて生活を享受していたことに気付いたのと同じように、われわれはさまざまのことから大切なことをひとつひとつ見つけ出さなければならない。それには、現状・実状をしっかりと把握することはもちろん大切であるが、「現在」だけを見ていても答えは見つけにくい。「歴史」というフィルターが必要である。

私たちは地球全体の動きも見据え、過去から学びながら、将来・未来のあるべき姿から現在に投影された診療放射線技師・職能団体としての社会的責任を果たし、結果として国民また他の医療職種から信頼され必要とされ、チーム医療の重要な一員と認知されるべく活動していかなければならない。診療放射線技師が社会的価値のあるものとして認められる職能となるために、引き続き1) チーム医療の推進、2) 地球環境と調和した医療技術の向上、3) 生涯教育・専門教育の推進、を展開していく。

国民が求める安心・安全な医療、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。それには広告のできる認定技師制度、領域別読影専門技師の育成、業務の診療報酬への反映、関連法令の改訂等、政策立案が必要であり、診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修等、公益社団法人日本放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。

また、各支部で開催される行政まつり等において、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入していく公益事業も引き続き推進する。

本会は公益社団法人として一層の社会性・公益性が求められることとなる。会員及び診療放射線技師の資質を高めそれを医療の現場で積極的に活用していくことは国民のため、チーム医療推進のためである。そしてそれをいかに表現していくかが重要である。

会員の皆様方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。

2. 定款に基づく本会の事業

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また、診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ペイシェントケア学術大会

開催時期：6月 土曜日

開催場所：日暮里サニーホールまたは東京都内のイベントホール

主 催：公益社団法人 東京都放射線技師会

後援：開催場所の市または区および東京都

実施内容：ペイシェントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

2) サマー・ウィンターセミナー

開催時期：8月および1月下旬 土曜日

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人 東京都放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

3) メディカルマネジメント研修会

開催時期：11月中旬

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人 東京都放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

4) 合同学術講演会

開催時期：9月上旬

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人 東京都放射線技師会・公益社団法人 日本放射線技術学会東京部会

実施内容：東京都内の放射線に関する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめ、多くのコメディカル分野の専門家、および有識者を招きます。

5) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査などを学術誌やホームページを通じて公表します。

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

東京都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレット「目で見る放射線」および本会会誌の配布を行います。また、一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) 看護フェスタ

開催時期：5月 第2日曜日

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主 催：公益社団法人 東京都看護協会

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、診療放射線技師の進路相談、放射線クイズ、学術誌配布

2) 中野まつり

開催時期：10月 第2土・日曜日

開催場所：中野区勤労福祉会館

主 催：中野区

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

3) 町田市総合健康づくりフェア

開催時期：10月下旬 土曜日

開催場所：町田市健康福祉会館

主 催：町田市

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体

験、骨密度測定、学術誌配布

4) 中央区健康福祉まつり

開催時期：10月下旬 日曜日

開催場所：中央区保健所

主 催：中央区

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

5) 立川防災航空祭

開催時期：10月下旬 日曜日

開催場所：陸上自衛隊立川駐屯地

主 催：立川市

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

6) OTAふれあいフェスタ

開催時期：11月初旬 土・日曜日

開催場所：平和島競艇場

主 催：大田区

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、学術誌配布

7) ピンクリボンウォーク

開催時期：3月下旬 日曜日

開催場所：都立日比谷公園

主 催：NPO法人乳房健康研究会

実施内容：「目で見る放射線」チラシ配布、放射線Q&A・医療放射線被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、学術誌配布

8) 医療被ばくや放射線に関する相談への対応

ホームページを利用して一般の方からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に適切なアドバイスを行います。

3. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都福祉保健局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療における様々な諸問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 日本放射線技師会生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

4. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

1) 学術誌「東京放射線」の刊行

月刊誌「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。また、イベントの展示ベースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。

2) 本会の活動に関する図書の刊行

診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。

診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、認定技師制度に基づく専門技術の習得と専門資格の取得を目的に、医療機器安全管理責任者養成講習会・MRI集中講習会・マンモグラフィ講習会を開催します。

3) 日暮里塾ワンコインセミナーと題して、本会研修センターにて、医療・健康・放射線技術などのさまざまなテーマで、だれでも参加できるセミナーを行います。

4) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。

5) 禁煙運動を促進し、健康の普及を推進します。

6) 組織の活性化、新卒者などの入会促進を行います。

7) 雇用の促進と確保に努めます。

8) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰、医療功労者表彰などへの申請を行います。また、本会における規定の表彰を行います。

3. 地区事業計画

平成24年度の各地区の事業計画が次のように企画されています。会員の皆様のご協力お願いします。なお、日時および詳細につきましては当該地区理事・委員長にお問い合わせください。

第1地区事業計画

- ・地区研修会を開催する。(2月頃開催予定)
- ・城東支部学術研修会を開催する。
- ・地区情報交換会を開催する。
- ・地区委員会を年11回開催する。(毎月第3火曜日開催原則)
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話、メール、直接出向く等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・地区委員を増やす。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第2地区事業計画

- ・第2地区研修会を開催する。(2012年7月～2012年9月に開催予定)
- ・支部学術研修会開催に参加協力する。(2012年7月～11月に開催予定)
- ・地区委員会を年6回開催する。(2ヶ月に1回は開催原則)
- ・地区委員の補強及び地区委員会運営の強化・連絡網の整備を行う。
- ・地区会員の把握及び会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第3地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
- ・地区委員会を年11回開催する。（毎月第3火曜日開催予定）
- ・新年度入会案内を電話・メール等で積極的に行う。
- ・会員退会の防止に向けて、技師会の宣伝を行う。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①予算・決算総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
⑤学術講演会⑥新春のつどい等

第4地区事業計画

- ・地区主催活動（研修会・情報交換会・OB会）を通じて活性化を図る。
- ・城南支部研修会を第4地区主導で開催する。（5～6月開催予定）
- ・第4地区研修会を開催する。
- ・地区委員会を年6回開催する。（毎月第3水曜日開催原則）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い活動・情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行い充実した地区活動に繋げる。
- ・小野賞を選考する。
- ・地区委員が積極的に本部・各支部行事に参加し会全体の活性化を図る。
- ・支部内の地区との連絡を密にし、連携を強化していく。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第5地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
- ・「5地区の集い」を開催する。（平成25年2月開催予定）
- ・地区会員親睦旅行を開催する。（平成25年3月開催予定）
- ・城北支部研修会を開催する。（平成24年10月開催予定）
- ・地区委員会を年11回開催する。
- ・入会促進（隨時）
- ・地区内の未入会者洗い出しと積極的な電話・メール及びパンフレット送付等による入会促進。
- ・地区会員管理（隨時）
- ・地区会員名簿メンテナンス。
- ・地区委員の受持ち制によるきめ細かな地区会員管理。
- ・Eメールによる地区委員間の相互連絡体制継続。
- ・小野賞を選出する。
- ・清掃活動（原則20日の日・祝日にあたる日に実施）
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。（隨時）
①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第6地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を企画し積極的に開催する。
- ・支部学術研修会を企画し積極的に開催する。（9月開催予定）

- ・合同支部委員会を開催する。(5月開催予定)
 - ・地区委員会を年6回以上開催する。(原則として奇数月第3水曜日開催) 6・12月は、予備月とし事業の進行状況をみて開催とする。
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話等で積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスおよび地区活動の広報活動を行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥日暮里塾ワンコインセミナー⑦スポーツ大会⑧新春のつどい等

第7地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
 - ・支部学術研修会を開催する。（開催日未定）
 - ・地区委員会を年6回開催する。（隔月第3水曜日開催原則）
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第8地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を年2回開催する。（8月・翌年2月に開催予定）
 - ・城南支部研修会を第4地区主導で開催する。（5～6月開催予定）
 - ・地区委員会を年6回開催する。（拡大理事会開催月第2木曜日開催を原則とする）
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第9地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（平成24年10月研修会開催予定、平成24年8月・平成25年1月情報交換会開催予定）
- ・支部研修会を開催する。（平成25年2月支部研修会開催予定）
- ・地区委員会を年6回開催する。（隔月第3金曜日開催原則）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。

- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 - ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
 - ⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第10地区事業計画

- ・支部研修会を開催する。（城西支部内で相談し検討する）
- ・地区委員会を年5回開催する。（開催日未定）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・中野まつりに参加する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 - ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
 - ⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第11地区事業計画

- ・地区情報交換会を開催する。（8月納涼情報交換会開催予定、2月新年情報交換会開催予定）
- ・地区学術研修会を開催する。（10月頃に東邦大学医療センター大橋病院で開催予定）
- ・地区委員会を年11回開催する。（12月を除く第3金曜日開催）
- ・地域に貢献するボランティア活動を行う。
- ・未入会者には積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 - ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
 - ⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第12地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（1月開催予定）
- ・支部研修会を開催する。（2月開催予定）
- ・地区委員会を年6回開催する。（偶数月第3水曜日開催原則）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・立川防災航空祭に参加し、市民に放射線に関する相談や説明・乳癌検診のPRを行う
- ・町田健康つくりフェアに参加し、市民に骨密度測定・放射線に関する相談や説明・乳癌検診のPRを行う
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 - ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
 - ⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第13地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（10月開催予定）
- ・支部研修会を開催する。（2月開催予定）
- ・地区委員会を年6回開催する。（偶数月第3火曜日開催原則）

- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第14地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（14地区の集いを8月4日に開催予定）
 - ・支部学術研修会を開催する。
 - ・地区委員会を年10回開催する。（毎月第3水曜日開催原則）8月と12月は休会
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・地区的集いの積極的に参加呼びかけを行う。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第15地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（上半期に研修会を開催予定）
 - ・城南支部学術研修会を開催する。（担当第4地区、開催のバックアップをする）
 - ・地区委員会を年6回開催する。（隔月第2金曜日開催原則）
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・城南支部の地区（4・8・11・15地区）同士の連携を図る。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

第16地区事業計画

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（平成24年7月頃開催予定）
 - ・支部研修会を開催する。（平成24年9月頃開催予定）
 - ・地区委員会を年6回開催する。（拡大理事会月の第4火曜日開催原則）
 - ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
 - ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
 - ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
 - ・小野賞を選考する。
 - ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会（日放技・関東甲信越地域等）⑤学術講演会
⑥スポーツ大会⑦新春のつどい等

収支予算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

第5号議案 平成24年度予算書（案）

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	予 算 合 計 (A)	前 期 予 算 (B)	差 異 (A-B)
	体験活動	他	会員のための生徒教育事業	相互扶助 表彰親睦	共 通				
I 一般味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
① 経常収益									
正会員受取会費	14,630,000	0	627,000	0	627,000	5,643,000	20,900,000	20,912,000	△ 12,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 事業収益									
研修会事業収益	800,000	400,000	1,800,000	0	400,000	0	1,200,000	1,200,000	0
親睦会事業収益	0	0	0	0	0	0	1,800,000	1,800,000	0
出版事業収益	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 受取寄付金	0	0	0	0	0	0	30,000	40,000	△ 10,000
④ 受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 雜収益	5,000	0	0	0	0	0	5,000	6,000	△ 1,000
受取利息	1,600,000	0	0	0	0	0	1,600,000	1,500,000	100,000
広告収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	10,000	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000
経常収益計	17,075,000	400,000	2,427,000	0	2,827,000	5,643,000	25,545,000	25,458,000	87,000
② 経常費用									
① 事業費									
給料手当	782,000	138,000	230,000	368,000	368,000	1,150,000	1,200,000	1,200,000	△ 50,000
福利厚生費	17,000	3,000	5,000	8,000	8,000	25,000	40,000	40,000	△ 15,000
会議費	2,572,705	280,540	1,414,487	1,695,027	1,695,027	4,627,732	4,558,737	4,558,737	68,995
旅費交通費	1,009,455	94,674	15,978	110,652	110,652	1,120,107	1,237,718	1,237,718	△ 117,611
通信運搬費	2,578,095	22,440	22,440	22,440	22,440	2,600,535	2,658,118	2,658,118	△ 57,583
減価償却費	904,770	6,733	3,366	10,099	10,099	914,869	915,305	915,305	△ 436
消耗品費	395,000	5,000	5,000	5,000	5,000	400,000	648,480	648,480	△ 248,480
修繕費	208,000	0	0	0	0	208,000	208,000	208,000	0
印刷製本費	5,806,425	53,388	46,729	100,117	100,117	5,906,542	7,123,290	7,123,290	△ 1,216,748
光熱水料費	189,600	2,400	2,400	2,400	2,400	192,000	192,000	192,000	0
管理費	960,000	0	0	0	0	960,000	820,800	820,800	139,200
倉庫使用費	170,178	0	0	0	0	170,178	170,178	170,178	0
保険料	118,500	1,500	1,500	1,500	1,500	120,000	136,000	136,000	△ 16,000
支払手数料	84,000	12,000	12,000	12,000	12,000	96,000	240,000	240,000	△ 144,000
租税公課	192,000	0	0	0	0	192,000	144,000	144,000	48,000
慶弔費	280,000	40,000	40,000	40,000	40,000	320,000	240,000	240,000	80,000
広報誌費	600,000	0	0	0	0	600,000	600,000	600,000	0
研究助成費	35,000	15,000	15,000	15,000	15,000	50,000	50,000	50,000	0
原稿料	500,000	0	0	0	0	500,000	500,000	500,000	0
諸謝金	296,314	103,686	103,686	103,686	103,686	400,000	400,000	400,000	0
図書費	25,700	9,300	9,300	9,300	9,300	35,000	35,000	35,000	0
支払利息	274,750	3,500	1,750	5,250	5,250	280,000	285,600	285,600	△ 5,600
雜費	357,813	12,229	30,653	42,882	42,882	400,635	1,268,000	1,268,000	△ 867,305
事業費計	18,717,305	751,390	1,799,963	0	2,551,353	21,268,653	23,671,226	23,671,226	△ 2,402,568

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法 人 計	予 算 合 計 (A)	前 期 予 算 (B)	差 差 (A-B)
	会員のための生涯教育事業	相互扶助表彰報酬	共 通	小 計						
②管理費										
当給料手当							1,150,000	1,150,000	1,200,000	△ 50,000
福利厚生費							25,000	25,000	40,000	△ 15,000
会議費							872,268	872,268	859,263	△ 13,005
旅費							79,893	79,893	88,282	△ 8,389
通信運搬費							199,465	199,465	203,882	△ 4,417
印刷製本費							93,458	93,458	112,710	△ 19,252
減価償却費							201,131	201,131	201,227	△ 96
消耗品費							100,000	100,000	162,120	△ 62,120
修繕費							52,000	52,000	0	
光熱水料費							48,000	48,000	48,000	0
管理費							240,000	240,000	205,200	34,800
倉庫使用費							41,822	41,822	41,822	0
保険料							30,000	30,000	34,000	△ 4,000
支払手数料							24,000	24,000	60,000	△ 36,000
租税公課							138,000	138,000	86,000	52,000
慶弔慰労金							80,000	80,000	60,000	20,000
支払報酬							700,000	700,000	540,000	160,000
支払利息、							70,000	70,000	71,400	△ 1,400
雜費							61,305	61,305	194,000	△ 132,695
管理費計							4,206,342	4,206,342	4,259,906	△ 53,564
経常費用計							4,206,342	4,206,342	27,931,132	△ 2,456,132
評価損益調整前当期経常増減額							0	0	0	
△ 1,717,305	751,390	1,799,963	0	2,551,353	4,206,342	25,475,000	70,000	△ 2,473,132	2,543,132	
△ 1,642,305	△ 351,390	627,037	0	275,647	1,436,658					
2. 経常外増減額の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計							0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計							0	0	0	0
当期経常外増減額							0	0	0	0
他会計振替額										
税引前当期一般正味財産増減額										
法人税、住民税及び事業税										
当期一般正味財産増減額										
一般正味財産期首残高										
一般正味財産期末残高										
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額										
指定正味財産期首残高										
指定正味財産期末残高										
III 正味財産期末残高										

第6号議案 法人名称変更を含む定款修正（案）

本会は、平成24年4月1日に公益社団法人への移行の登記を行い、本年度より「公益社団法人 東京都放射線技師会」としてスタートした。

診療放射線技師は、診療放射線技師国家試験に合格し厚生労働大臣より与えられた免許を有する医療従事者であるとともに、本会は東京都におけるその診療放射線技師の唯一の職能団体である。この診療放射線技師の正式名称を職能団体の法人名称に冠することは、公益社団法人日本放射線技師会においても示唆されており、他県放射線技師会では、すでにこの名称を冠して公益法人としてスタートしている会も存在する。

よって、本会としても、本総会に名称変更を提案する次第である。

また、上記変更に際しては、本会定款の改正が必要となる。ここにあらためて、定款第1の改正とともに、下記の修正を提案する次第である。会員の皆さまのご理解とご協力をお願いしたい。

- ・第13条 臨時総会の明記の件
- ・第38条 事業計画案・予算書の総会での報告の件
- ・第39条 事業報告の理事会での決議の件

以上

公益社団法人 東京都放射線技師会 定 款		公益社団法人 東京都 <u>診療</u> 放射線技師会 定 款
第1章 総則	第1条 (名称) この法人は、公益社団法人東京都放射線技師会と称する。	(名称) この法人は、公益社団法人東京都 <u>診療</u> 放射線技師会と称する。
第4章 総会	第13条 (開催) 総会は、定期総会として毎年事業年度の終了後3ヶ月以内に開催する。	(開催) 総会は、定期総会と <u>臨時総会</u> とし、 <u>定期総会</u> は毎年事業年度の終了後3ヶ月以内に開催する。
第7章 資産及び会計	第38条 (事業計画及び収支予算) この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始日の前日までに、会長が作成し理事会の決議を経て総会の承認を受けなければならない。	(事業計画及び収支予算) この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始日の前日までに会長が作成し、理事会の決議を経て総会にて <u>報告しなければならない</u> 。
	第39条 (事業報告及び決算) この法人の事業報告及び決算については、毎事年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、総会に提出し、次の事項の書類について承認を受けなければならない。	(事業報告及び決算) この法人の事業報告及び決算については、毎事年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の <u>決議</u> を経て、総会に提出し、次の事項の書類について承認を受けなければならない。

・会費に関する規程

「会費に関する規程」の会費に関する部分は、総会の承認の必要性があるため、ここに上程いたします。

	社団法人 東京都放射線技師会	公益社団法人 東京都 診療 放射線技師会 規 程
第 9 条		(会費減額) 定款第5条で定める会員で、次の事項を満たす者は、会費減額の取扱いを受けることができる。 (1)60才以上の会員 (2)10ヶ年以上会員として在籍し、会費の完納者
2		当該年度の前年度末までに所定の申請を行い〔様式6〕、理事会承認を経て新年度から資格を有する。
3		会費減額対象者の会費は以下のとおりとする。 (1)60才以上～70才未満 年額 7,000円 (2)70才以上 年額 3,000円
4		会費減額者は以下の特別待遇を受けることができる。 (1)この法人で行う学術研修会、講演会、講習会等の参加費を半額とする。 (2)この法人の啓発、教育活動を担える者として処遇する。

こえ

第12地区研修会に参加して

公立昭和病院 篠田 浩

福島原発の事故後、避難所になった東京ビックサイトでのサーベイに参加し、事故直後に実際に福島へ、サーベイに行かれた公立福生病院の市川学術理事の報告会（多摩支部緊急チャリティー講演会）に参加するなどして、汚染のサーベイについては大変貴重な経験になりました。しかし、その後は汚染の有無だけでなく各地域の空間線量の推移、水や食品の汚染の状況など測定を必要とする対象は多岐に及んでいきました。今まででは医療被ばくを中心とした資料や質問対応のためのマニュアルしか職場にはありませんでした。幸い、撮影直後に「今の撮影は何mSv？」と以前は無かった単位をつけた質問が少し増えたくらいで、困った質問を繰り返す患者さんはほとんどいませんでした。しかし、後輩がスーパーで簡易型のGM計数管と思われる測定器で商品を測定？しながら買い物をしている姿を

みかけたり測定器のレンタルをする店があつたりする状況は、社会の中で私たち診療放射線技師が医療被ばく以外の事にも対応しなければならない事が予想されます。

今回の地区研修会は測定器の諸特性や測定法の復習をするのに良い機会になりました。具体的な質問内容に対する対応法はあまり無かったです、質問自体が的を射ていない場合も多いので質問の意図を把握しつつ話を誘導してあげるのが良いそうです。講演後は質問が続き他の参加者の意識の高さに圧倒されるばかりでした。なかには病院にある測定器で何とか食品の汚染の測定が出来ないかと策を練ってきた方もいたようです。食品の新しい基準は既存の高価な専用機でも限界を超てしまう機種あるようで、専門の施設に任せるとかないようでした。貴重な講演をしていただいた日立アロカの大能先生ありがとうございました。



こえ

第12地区研修会 印象記

結核予防会復十字病院 雨宮 謙太

昨年3月の東日本大震災による原発事故は、1945年の原爆による広島と長崎、1954年の水爆実験による第五福竜丸、それに続く3回目の日本の一般市民の核による被災となりました。

放射性物質がどれだけの範囲に、どれだけの量が拡散し、どれだけの人がどの位被ばくし、また環境全体がどれだけ汚染をしたのか、これだけ多くの市民一人一人が自分の問題として、自身や家族の将来にまで関与する放射線障害の不安を抱えたのは今回の事故が初めてではないでしょうか。

私自身3月11日以降、医療における放射線の利用と核の事故による放射線（放射性物質）の影響の大きな相違について、放射線技師としての自身の理解不足を痛感する日々でした。

今回の研修は、放射線の測定と測定機器に目的を絞り、どの方法で、何を使って、何を測定するのか、またその測定結果の意味と重さを大変解り易く講義して頂きました。具体的な測定方法のみならず、市民の質問（不安）に答える場合の考え方の基本を学べたことを実感した研修でした。



放射線の測定と目的			
対象	測定部位	方法	基準
人体	表面污染	スクリーニング （ガラバベイメータ 100,000cpm/m ² 以上で検出対象）	
周	表面污染	ガラバベイメータ （ガラバベイメータ シナリオベイメータ）	
被ばく者	放射能濃度 （ガラバベイメータ モニタ）	シナリオベイメータ ヨウ素：300Bq/kg セシウム：100Bq/kg	
環境	放射能濃度 （モニタリングモード）	シナリオベイメータ モニタリングモード	ヨウ素：100Bq/m ³ セシウム：200Bq/m ³ （一時上昇）

以下に各機器の写真と説明があります。

- ガラバベイメータ
- シナリオベイメータ
- モニタ
- モニタリングモード

NEWS ひろい読み

がん患部にナノ粒子/画像補整、正確に検出、低コストで早期診断へ

明治大学の石原康利准教授らはナノ（ナノは10億分の1）メートル サイズの磁性粒子を活用し、がんを低コストで早期診断できる技術を開発した。

がん患部に集まる粒子の画像をとらえる。従来は画像がぼけるなどの課題があったが、正確に検出できるよう補整した。磁気共鳴画像装置（MRI）より小型で安く感度も高い装置の開発が目標で、1~3年後に動物で実験し効果を確かめる。

がん細胞は栄養などを取り込む血管を新たに作る性質を持つ。ナノ粒子はこの血管にある隙間を通り抜け患部にとどまるため、磁性材料のナノ粒子を注射しておけば患部の正確な位置などを割り出せる。

研究チームは微粒子が出す磁場のうち、誤表示の原因になる特定の周波数帯の磁場を抑え、必要な周波数帯の磁場を強調して表示した。また、磁場の強弱の特徴から誤差を調整する手法も活用し、画像が正確に表示できるようにした。従来は画像がぼけたり微粒子が無い場所に画像が映ったりする課題があった。磁場を作り出すコイルで新技術を検証したところ、画像がぼけたり誤表示したりせず、ほぼ正確に微粒子が集まる場所を表示できた。誤表示の元となる不正確な磁場の強さを、従来の1割程度に抑えられた。

今後はマウスなどで実験して効果を確かめたうえで、臨床試験に進みたい考えだ。装置は既存のMRIより小型にでき、コストも抑えられる見通し。（3.7日経産業）

ストロンチウム選択吸着剤を開発

研化学技術開発や環境分析などを手がける化研（水戸市）は、海水などから放射性ストロンチウムを吸着除去できる吸着剤「ストロンチウム選択吸着剤」を開発した。東京電力福島第1原子力発電所事故に伴う汚染水の除染に利用できるとみている。

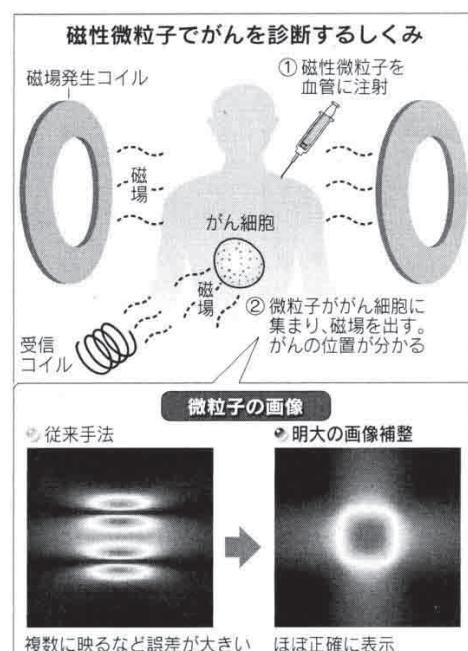
直径1ミリメートル程度の白い粒を詰め込んだ筒に汚染水を通すと、95%以上のストロンチウムを除去できるという。吸着能力がある鉱石のゼオライトなどを使い、10ヶ月かけて開発した。1年内に量産化にメドを。（3.7日経産業）

放射性ヨウ素の除去性能/浄水器協が国際準規格

浄水器メーカーなどの業界団体の浄水器協会（東京・港）は、家庭用浄水器の放射性物質除去性能に関する国際準規格をまとめた。空気中から水道水に混入するとされる放射性ヨウ素を除去する性能を認定する。

浄水器などの品質や安全性に関する国際認証を手掛ける、米機関のNSFインターナショナルと共同の規格となる。

これまで家庭用浄水器には放射性ヨウ素の除去に関し、一定の能力があることがわかつっていたが、水道水の水質や浄水器のろ過材によって能力にはばらつきがあった。除去に関する性質が放射性ヨウ素と同じである非放射性ヨウ素を使い、安全に除去性能を試験できる方法を確立した。東京電力の福島第1原子力発電所事故を契機に、高まっ



た水道水への放射性物質の混入について消費者の関心に対応して、製品に除去性能を明記できるようになる。現段階では試験できる水質やろ過材が限定されるため「準規格」となる。今後、対応できるケースを拡充し、「規格」とすることをめざす。(3.7日経産業)

甲状腺被ばく「50ミリシーベルト超」5人/福島の65人

東京電力福島第一原発事故後、福島県内の0歳から80歳代の住民65人の甲状腺を調べたところ、5人が甲状腺がんの発症リスクが高まる目安とされる、50ミリシーベルトを超えて被ばくしていたと推計されることが、弘前大学被ばく医療総合研究所（青森県弘前市）の床次真司教授らの調査でわかった。最大は87ミリシーベルトだった。調査は昨年4月11日から16日まで、原発周辺の福島県沿岸部から福島市に避難した48人と、原発から約30キロメートル離れた浪江町津島地区の住民17人を対象に実施。事故直後の3月12日に一度に放射性ヨウ素を吸い込んだと仮定し、半減期を考慮して補正した。87ミリシーベルトと最も高かった住民は浪江町から避難しなかった人で、次に高かったのは77ミリシーベルト。4割近い24人は10ミリシーベルト以下だった。

甲状腺がんのリスクは若いほど増加する傾向にあるが、50ミリシーベルトを超えたのはいずれも成人で、15歳以下の子どもの最大値は47ミリシーベルトだった。床次教授は「深刻とまでは言えないが、事故の影響がどれほどあったのかというのを知る上で貴重なデータ。国の本格的な調査に生かしてほしい」としている。(3.10読売)

喫煙、飲酒、塩分…一つ節制すると/がんのリスク男性14%低下、がんセンター8万人調査

禁煙、節酒など健康的な生活習慣を多く実践する人ほど、がんの発生リスクが低くなることが、約8万人を対象にした国立がん研究センターの追跡調査で分かった。同センターが5日発表した。調査対象は、岩手や茨城、大阪、沖縄など9府県在住の45～74歳の男女約8万人。がんの要因である喫煙、飲酒、食事（塩分）、運動、肥満度の5項目について、がんの発生リスクが高まるとされる数値基準を設け、何項目で健康的な生活をしているか調べた。1995年から2006年まで約10年間追跡した結果、項目数が増えるほど、がんリスクは低下し、1項目増えるごとに男性は平均14%、女性は同9%下がる傾向が見られた。(3.5読売)

ビタミンEとりすぎで骨粗しょう症に

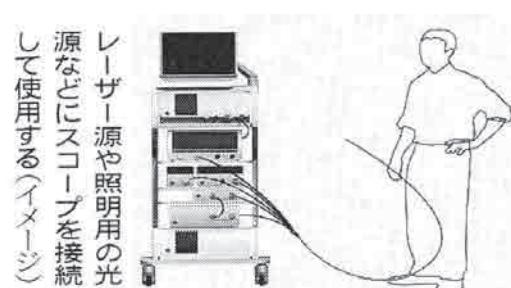
慶應大学などはビタミンEの過剰摂取が骨粗しょう症の原因となることをネズミを使った実験で明らかにした。骨を壊す細胞の働きを強めていた。抗加齢作用を期待してビタミンEのサプリメントを摂取する人は多いが、適量が求められそうだ。

東京医科歯科大学、東京大学などの共同研究で、米科学誌「ネイチャー・メディシン」に5日、掲載される。骨粗しょう症は骨がもろくなり、骨折の危険性が高くなる。骨は骨を壊す破骨細胞と骨を作る骨芽細胞の働きがバランスを取りながら新陳代謝を繰り返している。実験でラットに通常の摂取量の5倍にあたる量を8週間与えたところ、破骨細胞が大きくなつて骨を壊す働きが4割強まった。同じ年齢の正常ラットと比べると骨量が減少して骨粗しょう症になっていた。厚生労働省が定める食事摂取基準による目安量は1日7ミリグラムで許容上限量は800ミリグラム。ただ、国内外で市販されているサプリメントの中には1日の摂取量にして1,000ミリグラムのビタミンEが含まれているものもある。(3.5日経)

内視鏡、先端1ミリ以下/レーザーテクノメディカル、12年度中に試作機

医療機器開発のレーザーテクノメディカル（那覇市）は極細の医療用内視鏡装置を開発する。先端の太さを1ミリメートル以下と、既存の他社製品（2～5ミリメートル程度）より細くし、従来の内視鏡が入り込めない狭い部分まで潜り込ませられるようとする。2012年度に試作機を作る。

新開発の内視鏡は患部の観察に使うスコープ部分と治療用のレーザーを照射する部分を一体化したうえで1ミリメートル以下まで細くし、モニターに映した鮮明な患部画像を見ながらレーザー治療ができるようになる。大阪大学大学院工学研究科の栗津邦男教授らから技術指導を受けて開発する。（中略）治療ができなかった肺の末梢部分の腫瘍などをレーザーで焼き切ることが可能になるとしている。切開しないため、患者の負担を軽減できる効果も見込む。(3.9日経産業)



お知らせ
1

第15地区研修会

テーマ：医用画像表示モニターの品質管理

講 師：株式会社ナナオ 営業1部メディカル課 中島 進一 氏

昨今の医療画像機器の進歩に伴い、医用画像の取り扱い環境は大きく変わってきています。診断に用いられる画像はフィルムからモニターへと変化し、モニターはCRTから液晶へ移行しています。それに伴い、液晶モニターの品質管理の重要性が問われています。すでに、モニター診断を実施している施設でも、必要とされるモニター品質管理の方法や更新基準などで、疑問やお困りの点はないでしょうか。

今回は、液晶モニターの基礎知識を株式会社ナナオにレクチャーして頂きます。後半は実習形式で実際にモニターを用いて、品質管理を学習できる時間を設けてありますので是非ご参加下さい。

尚、第5回日暮里塾ワンコインセミナーと類似する内容となっておりますので、参加ができなかった方やもう一度聴きたいという方にお勧めの研修会となっています。会員、非会員に関わらず沢山の方々のご参加をお待ちしております。当日参加も歓迎いたしますが、実機を使用する関係上、事前登録にご協力お願い致します。

記

日 時：平成24年6月27日（水）18:45～20:45（受付開始18:15～）

場 所：帝京大学医学部附属溝口病院 二子管理棟7階会議室

交 通：東急田園都市線高津駅 徒歩1分

東急田園都市線溝口駅・JR南武線武藏溝口駅 徒歩10分

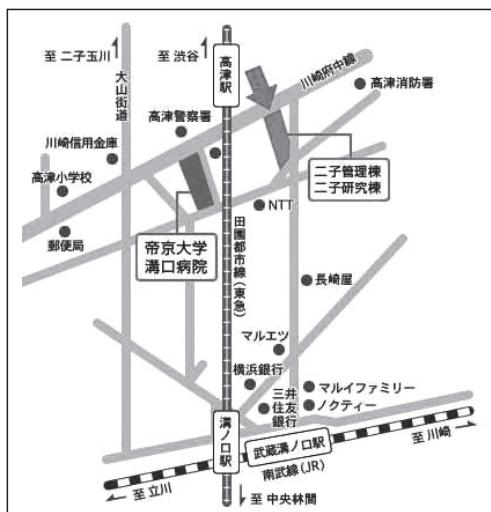
参 加 費：診療放射線技師500円、一般ならびに新卒新人会員・学生 無料

問い合わせ：事前登録：第15地区委員長 原子 満 Mail area15@tart.jp

帝京大学医学部附属溝口病院 TEL 044-844-3344（直通） Fax 044-844-3340

以上

【案内図】



第24回 腹部エコー初心者講習会

超音波検査を始めよう、または始めて間もない医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師の方を対象とした講習会を二日間の日程で開催いたします。

初日は超音波画像の成り立ちや画質調整などの基礎編、各臓器のメルクマールとなる超音波解剖をわかりやすく解説致します。二日目は初日の講義を基に、実際にプローブを握って頂き、基本断面の描出を目指していただきます。

開催概要

日 時 平成24年5月26日（土）～27日（日）

内 容 1日目（講義） 超音波の基礎（Bモード法・アーチファクトなど）
14:30～20:30 肝・胆・脾・腎・脾・門脈における解剖～基本走査法、
代表的疾患のレクチャー
2日目（実習） 肝・胆・脾・腎・脾における基本走査の習得
9:00～17:00 5名前後／装置1台

会 場 中央医療技術専門学校
東京都葛飾区立石3-5-12 電話03-3691-1879
京成立石下車 徒歩7分

会 費 会員 20,000円（夕食、翌日の昼食含む）
非会員 25,000円（入会金、夕食、翌日の昼食含む）
(会費は事前に振り込みでお願いいたします)

定 員 25名（定員となり次第受付を終了いたします）

その他 極少数の参加である場合は中止する場合もあります（費用は返却）。

主 催



超音波画像研究会

Ultrasound & Medical Imaging workshop

<http://www.us-image.org/>

申込方法

申込みは下記記入欄に記入のうえ、FAXまたは郵送、E-mailにてお願ひいたします。届き次第、受講票送付と振込先のお知らせをいたします。

申込先 〒124-0012 葛飾区立石3-5-12 中央医療技術専門学校 菅 和雄 宛
FAX 03-3691-9972 E-mail k_suga@ccmt.ac.jp
連絡先 菅 和雄 中央医療技術専門学校 電話03-3691-1879
* 電話による連絡は午後4:30より6:00の間でお願ひいたします

以下に記入し、お申し込み下さい

超音波画像研究会 御中 (fax 03-3691-9972)

腹部超音波初心者講習会申込書

申込日 平成 年 月 日

申し込み 非会員・会員 (No.)

氏名 (かな：)

以下、受講票送付先の□、他の□にチェックおよび変更箇所のみご記入下さい。

性別 男・女 S・H 年 月 日生 (会員は記入不要)

資格 医師・放技・検技・その他() (会員は記入不要)

勤務先： 部署

同住所： 〒

同電話： FAX：

自宅住所： 〒

同電話： FAX：

E-mail： 携帯mail：

US検査 実績 無・有 (およその経験 年 ヶ月)

テキスト 不要・要 (2,940円で割引き頒布)

メールの場合は上記内容を簡略したもので結構です。ただし件名は「講習会申込み」など入力下さい。

Pipe line

パイライン

中央医療技術専門学校卒業生の皆さんへ

第29回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会のご案内

日 時：平成24年6月30日（土）14時30分～19時30分
会 場：中央医療技術専門学校 3号館視聴覚教室
参 加 費：学会参加費無料、懇親会参加費3,000円（今春新卒者は無料）
※同窓会員の皆さまの参加をお待ちしております。

プログラム

1. 同窓会総会 14時30分～15時00分
2. 学術大会 15時00分～17時20分
 - ・同窓会員研究発表
 - ・教育講演
3. 懇親会 17時30分～19時30分
会場 葛飾区勤労者福祉会館

中央放射線学会「演題募集」の件

同窓会員の研究発表を募集いたします。
自薦、他薦は問いません。下記のメールアドレスに連絡ください。
こちらから案内させていただきます。
担当 布施 章 akiraf@jikei.ac.jp

News

5月号

日時：平成24年3月1日（木）
午後6時45分～午後8時15分
場所：(社) 東京都放射線技師会事務所

議 事

1) 平成23年度事業報告（案）の件

→ 一部文章を修正し承認した。【全会一致で承認】

2) 監督官庁指導に基づく「理事会推薦監事」の件

→ 5月総会の理事会推薦監事として佐藤清榮氏を推薦する。【全会一致で承認】

3) 平成24年度スローガンについて

- ①チーム医療の推進
- ②地球環境と調和した医療技術の向上
- ③生涯教育・専門教育の推進

→ 平成24年度スローガンについて審議した。【全会一致で承認】

4) 新定款にもとづく諸規程の改定について

公益社団法人申請に際し、一度理事会承認されている新定款にもとづく諸規程に不備、補足等が必要となり、ここに審議する。

・入会及び登録等に関する規程の件

→ 一部文言を変更し承認した。【全会一致で承認】

・会費に関する規程の件

→ プラチナ会員について会費規程に記載する。一部文言を変更し承認した。【全会一致で承認】

・委員会設置及び運営に関する規程の件

→ 委員会等の設置について島嶼部を選挙権等の規程上が品川区のため8地区所属とした。現在、所属している会員は除くものとする。一部文言を変更し承認した。【全会一致で承認】

・会計処理規程の件

→ 一部文言を変更し承認した。【全会一致で承認】

・啓発資料運用規程の件

→ 一部文言を変更し承認した。【全会一致で承認】

・投稿規程の件

→ 一部文言を変更し承認した。【全会一致で承認】

・表彰規程の件

→ 学術奨励賞について新規程について現状との整合性を図った。【全会一致で承認】

・叙勲及び各種団体表彰候補推せん規程の件

→ 一部文言を変更し承認した。【全会一致で承認】

5) 学術奨励賞の件

第7回ワンコインセミナー「学術教育が選んだ6演題」から選出とすることとし、学術推薦演題として「技師読影に関しての検討—読影技師の傾向と診断に対する影響—」東京大学医学部附属病院22世紀医療センター 工藤清宣を推薦する。

→ 「技師読影に関しての検討—読影技師の傾向と診断に対する影響—」東京大学医学部附属病院22世紀医療センター 工藤清宣を学術奨励賞とした。【全会一致で承認】

6) 新入会員の件

新入会2名、転入1名、編入出2名、退会6名。【全会一致で承認】

報告・連絡事項

1) 会長・副会長

篠原会長

・公益社団法人選挙の告示がされている。公益社団法人基準にもとづいた5月総会の選挙の選出である。

5月まで今期役員の任期とする。

2) 専門部

総務

・公益法人移行後の第1回総会実行委員15名が、選出されている。

渉外

・小野賞に1・4・5地区から推薦者が選出されている。

・勤続20年表彰に21名が選出されている。その内の9名が総会出席予定である。

学術・教育

・3月13日に第8回ワンコインセミナー開催

広報

- ・3月24日（土）に10時から日暮里春まつり開催
 - ・3月25日（日）にピンクリボンウォーク日比谷で開催
- 庶務
- ・書面表決票は、現在1300程である。
 - ・立候補届けの書類があるので提出する。会誌3月号に立候補届けの書類が掲載されているが、様式番号が異なっている。公益法人移行期のため様式番号が、異なっているものでも使用可能とする。

3) 支部・地区

第5地区

- ・3月17日（土）～18日（日）に千葉富津海岸の清掃活動開催
- ・3月20日（火）に日暮里駅前清掃活動開催

地区質問、意見に関する事項

第8地区

- ・以前の理事会で、公益法人移行により会誌に広告掲載が出来なくなるために広告収入が得られないのではないかと話があったが内容について確認したい。また、広告収

入などが減少するようであれば、会誌の発行方法（隔月やホームページからのダウンロード）を検討し、会費の減額方法も検討して頂きたい。

→ 認識違いであり、広告収入を公益事業に使用することは問題ない。また、会誌そのものが公益事業になるため発行方法は現在と同様であり、広告収入も現在と同様である。

今後の予定

- 3月 1日（木）：選挙公示日
- 3月 3日（土）：第62回総会（東医建保）
- 3月 8日（木）：学術委員会、編集委員会
- 3月 13日（火）：第8回NOCセミナー
- 3月 21日（水）：第11回五役会
- 3月 24日（土）：日暮里まつり
- 3月 25日（日）：ピンクリボンウォーク 日比谷
- 3月 29日（木）：第12回専門部理事会
- 4月 2日（月）：総務庶務委員会・第2回選挙管理委員会立候補〆切
- 4月 5日（月）：第1回理事会（拡大）

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌にてご案内しますので必ず確認してください。

平成24年度

1. 学術研修会

- ☆第11回サマーセミナー
- ☆第11回ウインターセミナー
- 第15回メディカルマネジメント研修会

平成24年 8月
平成25年 1月
平成24年11月

2. きめこまかなか生涯教育

- 第46回きめこまかなか生涯教育
- 第47回きめこまかなか生涯教育
- 第48回きめこまかなか生涯教育

平成24年 6月13日（水）～15日（金）
平成24年10月 3日間
平成25年 2月 3日間

☆3. 日暮里塾ワントインセミナー

- 第10回日暮里塾ワントインセミナー
- 第11回日暮里塾ワントインセミナーおよび第11地区研修会 共同開催

平成24年 5月13日（日）
平成24年 5月17日（木）

- 第12回日暮里塾ワントインセミナー

平成24年 6月30日（土）

☆4. 支部研修会

- 城南支部研修会
- 城東・城西・城北・多摩支部研修会

平成24年 5月25日（金）

5. 地区研修会

- 第11地区研修会（第11回NOC共同開催）
- 第15地区研修会
- 第2地区施設見学会

平成24年 5月17日（水）
平成24年 6月27日（水）
平成24年 7月21日（土）

☆6. 第10回ペイシェントケア学術大会

☆7. 第12回東放技・東京部会合同学術講演会

平成24年 5月26日（土）

平成24年 9月13日（木）

公益社団法人東京都放射線技師会 第1回定期総会

平成24年 5月26日（土）

関連団体【後援】

- 第28回日本診療放射線技師学術大会
- 平成24年度関東甲信越放射線技師学術大会

平成24年 9月28日（金）～30日（日）

平成24年10月 6日（土）～7日（日）

☆印は新卒新入会無料招待企画です。

（新卒新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう）

平成23年度3月期 会員動向

(平成24年3月)

総会員数		正会員						賛助会員					
年月	月末数	会員数	新入	転入	転出	退会	編出・入	会員数	新入	転入	転出	退会	編入・出
22年度集計	1970	1768	83	19	16	110	-9 +4	202			5	9	9 -4
H23.4	1979	1776	12	3	1	5	-1	203					1
H23.5	1986	1782	8			1	-1	204					1
H23.6	2009	1805	23	3	3			204					
H23.7	2016	1812	7	1	1			204					
H23.8	2028	1824	11	1				204					
H23.9	2038	1835	10	3	1	1		203				1	
H23.10	2041	1838	3	1		1		203					
H23.11	2044	1841	2	1				203					
H23.12	2051	1848	8	1		2		203					
H24.1	2051	1844	4	1	1	4	-4	207					4
H24.2	2048	1839	2	1		6	-2	209					2
H24.3	1989	1793		4	3	49	2	196			3	8	-2

3月度	転入(4名)	大山 葉子	パークサイドクリニック	4 地区
	伊東 恵美子			2 地区
	朝日 和也	アムス丸の内パレスビルクリニック		1 地区
	野原 賢	荏原病院		8 地区
転出(6名)	蜂須賀 梨沙	湘南中央病院 → 神奈川県へ		15 地区 贊
	野島 礼美香	昭和大学藤が丘病院 → 神奈川県へ		15 地区
	青木 麻美	八王子スポーツ整形外科 → 神奈川県へ		13 地区
	南 将之	川崎市立川崎病院 → 神奈川県へ		15 地区 贊
	佐々木 裕介	立正佼成会附属佼成病院 → 北海道へ		10 地区
	石田 真実	昭和大学横浜市北部病院 → 北海道へ		15 地区 贊
編入出(2名)	小川 孝	日本医科大学附属病院		5 地区 贊→正
	吉田 真久	芝病院		4 地区 贊→正
退会(57名)	青沼 文雄	千葉県予防衛生協会		14 地区 贊
	秋元 重蔵	出版健保組合診療所		1 地区
	飯田 実	都立駒込病院		5 地区
	石木田 忠雄	熱海ちとせ病院		15 地区 贊
	石澤 正道	日本大学医学部付属板橋病院		9 地区
	石原 泰一	昭和大学鳥山病院		11 地区
	池田 佳奈			3 地区
	雲類鶴 麻衣	昭和大学病院		8 地区
	大場 泰幸	東京都市医療会中央病院		4 地区
	岡部 文夫	昭和大学病院		8 地区
	岡本 信政	都立東部療育センター		7 地区
	片野 修一	お茶の水駿河台クリニック		1 地区
	金田 伸一	東京大学医科学研究所付属病院		4 地区
	鎌田 信悟	三菱商事(株)人事部(診療所)		1 地区
	金田 安夫	片倉病院		15 地区 贊
	古宇田 繁	株式会社 グリーンライフ		14 地区 贊
	小坂 誠	新橋青木クリニック		4 地区
	斎藤 隆	大泉病院		10 地区
	佐々木 輝雄	公立昭和病院		12 地区
	佐藤 春雄	愛育病院		4 地区
	佐藤 智宏	ハイメディック・東大病院		5 地区
	鷲池 真吾	武藏野赤十字病院		13 地区
	佐藤 祐樹			10 地区
	佐藤 和彦			14 地区 贊
	四郎丸 邦治	ゆたか診療所		8 地区
	塩田 政次	東京電力病院		3 地区
	下村 聰	自衛隊中央病院		11 地区
	勝呂 和以	JFEスチール株式会社		1 地区
	鈴木 英一	社会保険中央総合病院		3 地区
	鈴木 美佳			7 地区
	助安 義昭	昭和大学横浜市北部病院		15 地区 贊
	鈴木 朋之	浅草寺病院		2 地区
	反り目 隆二			13 地区
	高嶋 明彦	勝田台病院		14 地区 贊
	高橋 啓二	品川保健センター		8 地区
	田中 宏文	ケイアイ飯田橋クリニック		8 地区
	谷口 良徳	慶應義塾大学病院		3 地区
	竹之内 真紀			2 地区
	土田 静男	永寿総合病院		2 地区
	遠井 起之	赤羽台診療所		5 地区
	中村 進	多摩済生病院		12 地区
	南波 哲朗	東邦大学医療センター大森病院		8 地区
	長谷 美智子	島村記念病院		10 地区
	馬場 修			13 地区
	平林 久枝			13 地区
	深澤 渉	東京慈恵会医科大学附属第三病院		13 地区
	福島 秀夫	航空自衛隊第4術科学校衛生課		16 地区 贊
	藤井 誠	吉川内科小児科病院		11 地区
	藤田 アリス	昭和大学病院		8 地区
	堀内 一樹	昭和大学病院		8 地区
	三浦 康知	東邦大学医療センター大森病院		8 地区
	目黒 花子	浅草寺病院		2 地区
	山入端 立博	都立府中病院		13 地区
	吉岡 貞雄	JR東日本健康推進センター		8 地区
	鷲見 正一	多摩丘陵病院		13 地区
	山岸 薫九郎	東京都予防医学協会		3 地区

公益社団法人 東京都放射線技師会 研修会等申込書

ふりがな	生年月日	日放技会員番号
氏名	男・女	年月日
〒 現住所		
TEL FAX		
勤務先	第	地区
〒 勤務先		
住 所	TEL	FAX
参 加	第 回 に参加します	
申 込		
期 間 平成 年 月 日 () ~ 月 日 ()		
備 考	E-mail :	
連絡先 現住所・所属先 その他 ()		

通 信 欄

自由なご意見・ご要望をお寄せください。

送り先FAX: 03-3806-7724

Postscript

電車の車内のモニターで『日本の四季は四つだけではない。』という表示を見ですかさずスマホで調べてみた。

おそらく、二十四節気のことだったようで、二十四節気とは、節分を基準に1年を24等分して15日ごとに分けた季節のことだそう。

24コざっと見てみると立春とか立秋とか時々知っている言葉はあるけれど、ほとんど聞いたことがない言葉だった。

ちなみに、

5月6日頃は立夏（りつか）…大地が草で覆われ木々が茂ってくる。カレンダーには「夏が立つ」などと記載されていることもあるよう。簡単にいうと「夏がきたよ」という意味。

5月21日頃は小満（しょうまん）…秋に蒔いた麦などの穂がつく頃。田畑を耕して生活の糧を得ていた時代では農作物の収穫の有無は生死にかかわる問題だった。ほっと一安心（少し満足）するという意味のようだ。

カレンダーを見たときに、このようなくんちくがでてきたら、少しかっこいいなあと思う今日この頃です。

kitty

ある学会誌の会告に「コ・メディカル」の呼称を自肅しましょう、との告知がありました。

「コ・メディカル」の用語には“意味する職種の範囲が不明確”“医師とそれ以外といった上下関係を暗示させてすべての医療人が対等に参画することが原則のチーム医療の精神に反する”などの問題点が、以前より指摘されていました。

確かに、チーム医療の推進についての議論が盛んに行われていたり、様々な職種が協働して患者様の治療にあたっている現状を鑑みると、患者様に接する医療従事者間の上下関係や距離感という考え方そのものが通用しなくなっているのは自然なことなのかもしれません。

さて、本会東放技も次回の公益法人化初の総会で「東京都診療放射線技師会」への名称変更を議決する予定です。さきの「コ・メディカル」の件では、あらためて名称・呼称の意味や大切さを考えるきっかけになったと同時に、新たな法人制度のスタートの下で、新たな名称が“正式な職種名”を名乗れることをうれしく思います。

tenai

■ 広告掲載社

医療科学社
コニカミノルタヘルスケア(株)
(株)島津製作所
シーメンス・ジャパン(株)
東芝メディカルシステムズ(株)
日本メジフィジックス(株)
富士フイルムメディカル(株)

東京放射線 第59巻 第5号

平成24年4月25日 印刷（毎月1回1日発行）

平成24年5月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都放射線技師会

会長 篠原健一
編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京（03）3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9：30～17：00

案内 ただし土曜・日曜・休日・祭日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX 東京（03）3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康
内藤哲也
岩井譜憲
森美加
中谷麗
浅野幸
柴山豊喜
平田充弘
高橋克行

